

SHARP[®]

SH-T01

取扱説明書

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ クイックスタートガイド(本体付属品)

各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項などについて説明しています。

■ 取扱説明書(本書)

機能の詳細な案内や操作について説明しています。

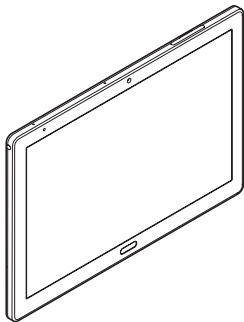
次のサイトでダウンロード

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/manual/index.html>

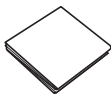
※最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書においては、「SH-T01」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書は、ホームアプリが「AQUOS Home」の場合で説明しています。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。

本体付属品



SH-T01本体



クイックスタートガイド
(保証書付き)

- 本端末に対応する別売品については次のサイトをご覧ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

目次

取扱説明書について.....	H2
本体付属品.....	1

注意事項

本端末のご利用について.....	4
安全上のご注意(必ずお守りください).....	5
取り扱い上のご注意.....	14
内蔵電池の交換について.....	20
リサイクルについて.....	20
防水/防塵性能.....	21

ご使用前の準備

各部の名称と機能.....	27
microSDカード.....	31
充電.....	33
電源を入れる/切る.....	34
初期設定.....	35

基本操作

基本操作.....	37
文字入力.....	41
通知/充電ランプ.....	42
画面表示/アイコン.....	42
アプリ使用履歴.....	45

マルチウィンドウ.....	46
音声エージェント.....	47
アプリ初回起動時の確認画面について.....	48

ホーム画面

ホーム切替.....	50
AQUOS Home.....	50
かんたんホーム.....	53
主なアプリ一覧.....	56

連絡帳

連絡帳.....	58
----------	----

メール/ウェブブラウザ

Gmail™.....	61
Chrome.....	61

カメラ/フォト

カメラについて.....	64
フォト.....	69

アプリ

Play ストア.....	70
GPS/ナビ.....	71

時計.....	72
カレンダー.....	75

本体設定

設定メニュー.....	77
ネットワークとインターネット.....	78
接続済みのデバイス.....	80
アプリと通知.....	81
電池.....	83
ディスプレイ.....	84
音.....	86
ストレージ.....	88
プライバシー.....	89
位置情報.....	90
セキュリティ.....	90
アカウント.....	95
ユーザー補助.....	96
Digital Wellbeing と保護者による使用制限.....	97
Google™.....	97
システム.....	98
タブレット情報.....	101
お困りのときは.....	102

ファイル管理

ストレージ構成.....	103
ファイル操作.....	103

データ通信

Bluetooth®機能.....	105
-------------------	-----

外部機器接続

パソコンなどとの接続.....	110
プリントサービスによる印刷/保存.....	112
USBホスト機能.....	112
キャスト.....	113
VPN(仮想プライベートネットワーク).....	113

付録

トラブルシューティング (FAQ).....	115
システム アップデート.....	120
保証とアフターサービス.....	121
主な仕様.....	123
CAUTION.....	125
輸出管理規制.....	125
知的財産権について.....	126

索引

名前から探す.....	129
目的から探す.....	135

注意事項




本端末のご利用について

- 本端末は、日本国内でのみ使用可能です。無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は、音声通話には対応しておりません。
- 本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応していますが、ユーザーを切り替え際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては一切の責任を負いかねます。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。

- 本端末のシステムを最新の状態にアップデートすることができません(※P.120「システム アップデート」)。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては※P.101「タブレット情報」
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販の周辺機器については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)







- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害(※3)の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明していません。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。	

本端末、ACアダプターの取り扱いについて (共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水/防塵性能については以下をご参照ください。

☞P.21「防水/防塵性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.21「防水/防塵性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特にバッグなどに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意いただきたい例

- バッグなどに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.21「防水/防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
『P.21「防水/防塵性能」』



指示

本端末には、必ず指定のACアダプター(別売)をご使用ください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
別売品については次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入りしめないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所
には置かないでください。パイブレータ設定中は特
にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使
用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
☞ P.21「防水／防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を
教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
microSDカードトレイなどの小さい部品の保管場
所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温
度が高くなる場合がありますのでご注意ください。
また、眠ってしまったりするなどして、意図せず継
続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中
は、本端末やACアダプターの温度が高くなることがありま
す。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や
体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなど
の原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠️ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでくださ
い。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハン
マーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度
な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、す
ぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受
けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良など
の原因となります。

警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のmicroSDカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やホチキスの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、microSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

大きな音で通知音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

待ち受け中であっても、突然の通知音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、バイブレータ(振動)や通知音量の設定に注意してください。

突然のバイブレータ(振動)や通知音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部などのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

【P.14「材質一覧」】



指示

本端末のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

ACアダプターの取り扱いについて

警告



禁止

ACアダプターのケーブルが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプターには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターのケーブルの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にACアダプターを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプターのケーブルや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

指定のACアダプター(別売): AC100V~240V(家庭用ACコンセント専用)



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプターのケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプターを持って抜いてください。

ACアダプターのケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにACアダプターを持って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプターに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面处理
ディスプレイ面	強化ガラス／AFコート
外装	PC樹脂＋ABS樹脂／ハードコート、塗装、印刷
電源キー	アルミニウム／アルマイト処理
音量UP／DOWNキー	アルミニウム／アルマイト処理
指紋センサー	エポキシ樹脂／ハードコート
カメラパネル	PC樹脂＋アクリル樹脂／AFコート
microSDカードトレイ(外装部)	PC樹脂(ガラス入り)／ハードコート、塗装
microSDカードトレイ(樹脂部)	POM樹脂／印刷
microSDカードトレイ(金属部)	ステンレス
microSDカードトレイのパッキン	シリコンゴム
製造番号プレート	PET樹脂／PET樹脂ラミネート、印刷
製造番号ラベル	PET樹脂／印刷

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-T01は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を入れたり、指定のACアダプター(別売)にこれらを付着させたりしないでください。

指定のACアダプターは防水／防塵性能を有してありません。風呂場などの湿気が多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。

端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。

また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れるとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。**

本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
風呂場等のご使用については以下をご参照ください。
【P.21「SH-T01が有する防水/防塵性能でできること」】
- **家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はmicroSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
明るさセンサー、指紋センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
明るさセンサー、指紋センサーの位置は、以下をご参照ください。
【P.27「各部の名称と機能」】

● **内蔵電池は消耗品です。**

内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。

十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換については以下をご参照ください。

☞ P.20「内蔵電池の交換について」

● **充電は、適正な周囲温度(5°C~35°C)の場所で行ってください。**

● **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

● **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**

- ・フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
- ・電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管

なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。

● **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

● **本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。**

ACアダプターについてのお願い

● **充電には指定のACアダプター(別売)をご使用ください。**

別売品については次のサイトをご覧ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

● **充電は、適正な周囲温度(5°C~35°C)の場所で行ってください。**

● **次のような場所では、充電しないでください。**

- ・湿気、ほこり、振動の多い場所
- ・家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近く

● **充電中にACアダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**


● **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

● **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**


故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面▶[]▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4: 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX: 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8: 想定される干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑥ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い


- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて


電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面▶▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
 - ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
 - ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
 - ④ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑤ :2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 本端末の無線LANで設定できるチャネルは1~13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
- 利用可能なチャネルは国により異なります。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

電波障害自主規制について


- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認くださいことができます。

ホーム画面▶▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認ください。

ホーム画面▶▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って使用することは、罰則の対象となります。
- Bluetooth・無線LAN(WLAN)機能は日本国内で利用してください。
本機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。使用状況や動作環境によって異なりますが、充放電を繰り返すうちに劣化します。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは新しい内蔵電池と交換する必要があります。

本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては「保証書に記載のお問い合わせ先」まで、ご相談ください。



Li-ion00

■ 本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前に「すべてのデータを消去(出荷時リセット)」を行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください(P.100「リセット オプション」)。

防水／防塵性能

SH-T01は、microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有していません。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところ通信端末を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75 μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-T01が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通信ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水(6L/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。(※P.25「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

● 風呂場で使用できます。

- 常温の水道水以外の液体(温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。

故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。

- 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。

なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。

- 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(※P.25「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。

風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。

- 急激な温度変化は、結露の原因となります。

寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。

また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。故障の原因となります。

- 風呂場では絶対に充電を行わないでください。
- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、データ通信ができない場合があります。
- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- microSDカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
 - microSDカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
 - 防水／防塵性能を維持するため、microSDカードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとする爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

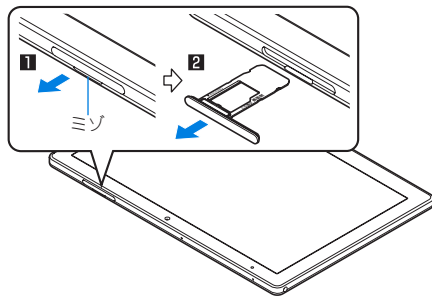
■ microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた

- 取り外し／取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し／取り付けは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

取り外すとき

1 microSDカードトレイを本体から引き出す

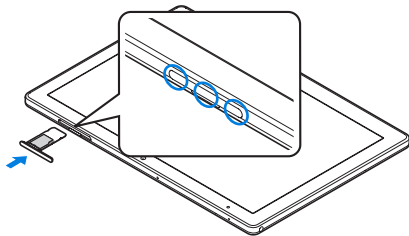
- ミゾに指の先をかけて手前に引き出し(1)、ゆっくりと水平に引き出してください(2)。
カードトレイを強く引き出ししたり、斜めに引き出ししたりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



取り付けるとき

1 ディスプレイ面を上向きにして、microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- O部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- microSDカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6L/分を超える)を直接当てないでください。SH-T01はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- マイク、スピーカー、USB Type-C™接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴などを尖ったものでつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態で外部接続機器を挿さないでください。故障の原因となります。
- 指定のACアダプター(別売)は防水／防塵性能を有していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん/
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



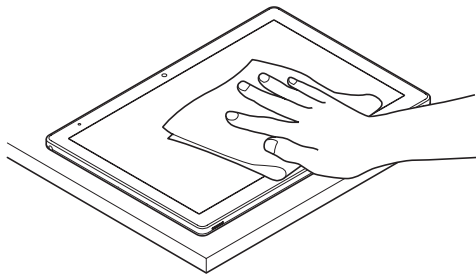
砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

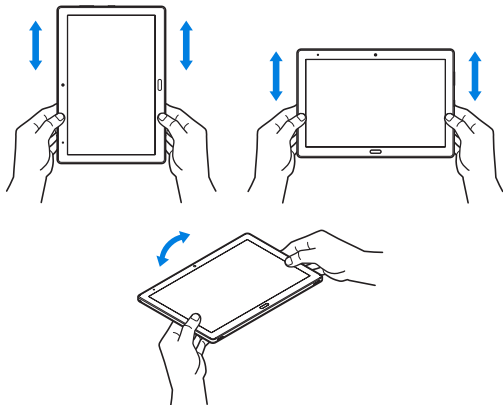
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末を安定した台などに置き、端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

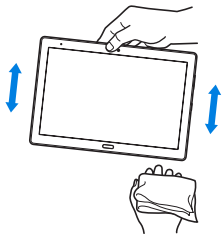


- 2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り、端末の上下または表裏を持ち替えて、再度20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



3 マイク、スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいたることがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

指定のACアダプター(別売)は防水/防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

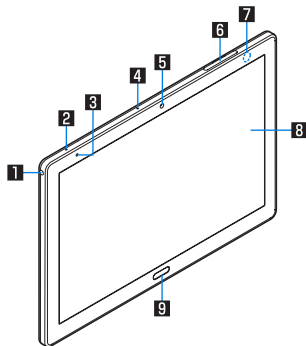
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水/防塵性能を有しておりますが、濡れたり汚れたりしている状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、端末やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



1 イヤホンマイク端子

2 空気抜き穴

- 端末内の余分な空気を抜くための穴です。

3 明るさセンサー※1

- 画面の明るさの自動制御に使用します。

4 マイク

5 インカメラ

- カメラの利用についてはP.64「カメラについて」

6 microSDカードトレイ

- microSDカードについてはP.31「microSDカード」

7 通知／充電ランプ

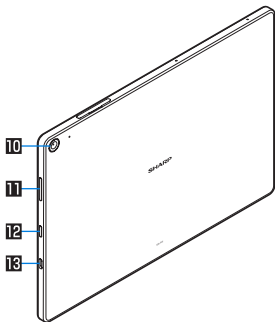
- 通知／充電ランプについてはP.42「通知／充電ランプ」

8 ディスプレイ／タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.37「タッチパネルの操作」

9 指紋センサー※1

- 指紋認証による、タッチパネルのロック解除などに利用します。
- ホームキーとして利用します。
- 指紋センサーの利用についてはP.92「指紋認証」



10 アウトカメラ

- カメラの利用についてはP.64「カメラについて」

11 $\square(+)$ / $\square(-)$: 音量UP/DOWNキー

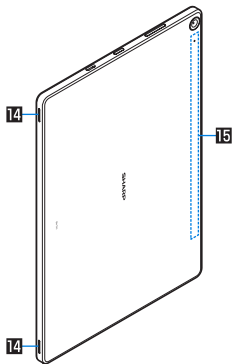
- 各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。

12 \square : 電源キー

- 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。
- 1秒以上押すとメニューが表示され、「電源を切る」[再起動] [画面の保存] [故障かな?と思ったら]の操作ができます。
- 詳しくは下記をご参照ください。
 - 電源を入れる／切るについてはP.34「電源を入れる／切る」
 - 画面の保存についてはP.40「スクリーンショットの撮影」
 - 「故障かな?と思ったら」についてはP.102「セルフチェック」

13 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- 外部機器との接続についてはP.33「充電」、P.110「パソコンなどとの接続」、P.112「USBホスト機能」



14 スピーカー

- 通知音や音楽などがここから聞こえます。

15 Wi-Fi/Bluetooth/GPSアンテナ※2

- ※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
- ※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

明るさセンサーについて

- 明るさセンサーを覆うと、画面が暗くなります。端末を縦に持った際など、明るさセンサーを手で覆わないようにご注意ください。

マイクについて

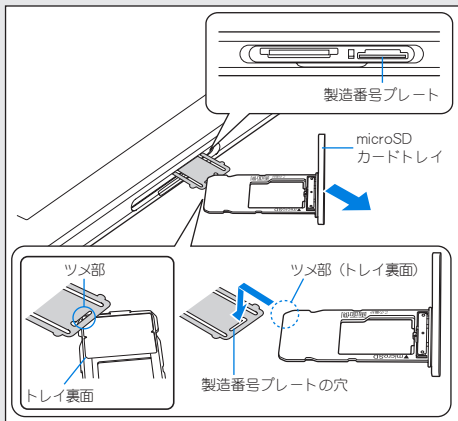
- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさがないようにしてください。

製造番号プレートについて

- microSDカードトレイの挿入口付近には、製造番号などを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせいただく際に、製造番号が必要となりますので、プレートを引き出したり、シールをはがしたりしないでください。製造番号プレート（銘板プレート）の取り扱いに関する注意事項については、「アフターサービスについて」(P.122)をご参照ください。

製造番号プレートを引き出すには

- ① ディスプレイ面を上向きにして、microSDカードトレイを本体から引き出す。microSDカードトレイの引き出しかたについては以下をご参照ください。
P.22「microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」
- ② microSDカードトレイ裏面（文字が印刷されていない面）のツマミ部を製造番号プレートの穴に上からかけて、製造番号プレートを引き出してください。（このとき、microSDカードは事前にトレイから取り外しておいてください。）
※ 製造番号プレートは引き抜かないでください。



- 製造番号プレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 製造番号プレートを引き出してしまった場合は、製造番号プレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。

本端末の強制終了について

- 〇 (電源キー)を8秒以上押し続けると、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-T01が対応するmicroSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/peripherals/microsd.html>
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(☞P.88「microSDカード/USBメモリのフォーマット」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

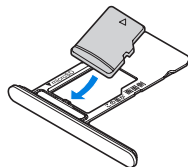
■ 取り付けかた

- microSDカードトレイの取り外し/取り付け方法について詳しくは、「microSDカードトレイの取り外し/取り付けかた」(☞P.22)をご参照ください。

1 microSDカードトレイを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、microSDカードトレイに取り付ける

- microSDカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- microSDカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



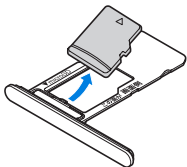
3 ディスプレイ面を上向きにして、microSDカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.22)をご参照ください。

1 microSDカードトレイを取り外す

2 microSDカードをmicroSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、microSDカードトレイを本体に取り付ける

- microSDカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- microSDカードやmicroSDカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でmicroSDカードトレイを引き出すと、取り付けられているmicroSDカードが外れ、紛失する可能性があります。
- microSDカードを取り扱うときは、金属端子に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとmicroSDカードが破損したり、microSDカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- 取り外したmicroSDカードは、なくさないようにご注意ください。

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

■ 充電時のご注意

- 充電時間の目安についてはP.123「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます(充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます)。
- 充電完了後、指定のACアダプター(別売)を長時間挿したままにすると、充電量が減少する場合があります。この場合、ACアダプターから再び充電を行います。ACアダプターを端末から取り外すタイミングによっては、内蔵電池の充電量が本来の充電量より少ない場合があります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少していることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。

- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

ACアダプターで充電

[必ず利用するACアダプターの取扱説明書を参照してください]

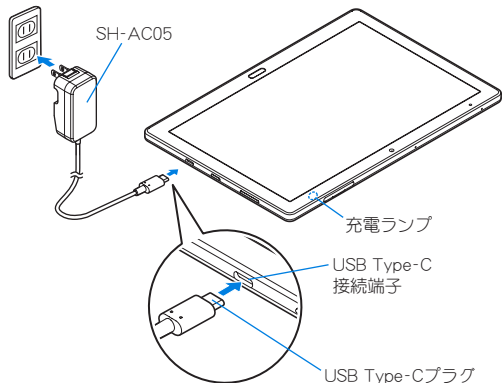
- 次の操作はACアダプター SH-AC05(別売)を使用して説明しています。
 - 別売のACアダプターについてはP.16「ACアダプターについてのお願い」

1 ACアダプターの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。

2 ACアダプターのUSB Type-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が開始します。
- フル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。



3 充電が完了したら、USB Type-Cプラグを端末のUSB Type-C接続端子から水平に抜く

4 電源プラグをコンセントから抜く

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)などで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンなどとの接続方法についてはP.110「パソコンなどとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 **⏻(電源キー)(3秒以上)**

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(P.35「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 **⏻(電源キー)(1秒以上)**

2 **[電源を切る]**

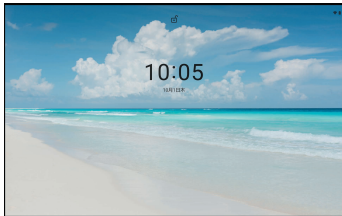
■ ディスプレイの表示／非表示

⏻(電源キー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに⏻(電源キー)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[🔒]が表示されている場合は、画面を上からスワイプして画面ロックを解除します。[🔓]が表示されている場合は、画面を上からスワイプして[画面ロック]で設定したパスワードなどを入力して画面ロックを解除します。



タッチパネルのロック画面の操作

- ステータスパネルの表示: 画面を下にドラッグ
- ステータスパネルを展開して表示: ステータスバーを下にドラッグ
- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。通知の表示についてはP.82「ロック画面の通知」

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。


- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - 言語の設定
 - Wi-Fiに接続
 - アプリとデータのコピー
 - Googleアカウントの設定 (P.35「Googleなどのアカウントの設定を行う」)
 - Google サービス
 - 端末のロック
 - Google アシスタント™
 - Voice Match でアシスタントにアクセス
 - Google Pay™
 - その他の設定項目

Googleなどのアカウントの設定を行う


- Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

- 1 ホーム画面▶[🔗]▶[アカウント]▶[アカウントを追加]
- 2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面▶[]▶[アカウント]で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。
- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

- 1 ホーム画面▶[]▶[アカウント]
- 2 アカウントを選ぶ▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]
 - アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

- 1 ホーム画面▶[]
- 2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力▶[]▶[ログイン]
- 3 メールアドレスを入力▶[次へ]▶[パスワードをお忘れの場合]▶画面の指示に従って操作
 - 利用状況により操作方法が異なります。

基本操作

基本操作

タッチパネルやナビゲーションバーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押しすぎたり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



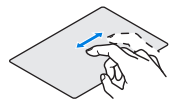
■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っただけに触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト/ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)/狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大/縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーに表示されるキーなどを使って基本的な操作を行うことができます。



1 ◀/▶: 戻るキー/閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ◻: ホームキー

- ホーム画面を表示します。
- ロングタッチすると、音声エージェントを起動します(☞P.47「音声エージェント」)。

3 ◻/☰: アプリ使用履歴キー/マルチウィンドウキー

- アプリ使用履歴を表示します(☞P.45「アプリ使用履歴」)。
- マルチウィンドウ利用中であることを表します(☞P.46「マルチウィンドウ」)。

■ メニューを呼び出す

[⋮]／[≡]などのメニューキーのタッチや画面の左端を右にスワイプ、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例:電卓画面



■ 設定の切替

設定項目の横にトグルスイッチなどが表示されているときは、タッチすることで設定のON/OFFを切り替えることができます。

例:Wi-Fi 設定画面

- []はON、[]はOFFの状態です。



■ 横／縦表示

端末を回転させた場合、利用中のアプリによってはナビゲーションバーに[🏠]／[📺]が表示されます。[🏠]／[📺]をタッチして、画面の横／縦表示を切り替えることができます。

- [画面の自動回転]をONにすると、本端末の傾きに合わせて、横／縦表示が自動的に切り替わります(☞P.84「ディスプレイ」)。
 - ステータスパネルからも設定できます(☞P.44「ステータスパネルの利用」)。

- 横表示から縦表示にした場合、アプリによっては全画面表示が解除されることがあります。

[画面の自動回転]について

- アプリや表示画面によっては、端末の向きを変えても、横／縦表示が切り替わらない場合や、特定の向きに表示が固定される場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、横／縦表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、横／縦が正しく表示されない場合があります。

スクリーンショットの撮影

表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、フォトなどで確認することができます。

1 🏠(電源キー)(1秒以上)▶[画面の保存]

- [電源を切る]、[再起動]などのメニューは撮影されません。
- 🏠(電源キー)+🏠(←)を1秒以上押しても、表示中の画面を画像として撮影できます。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

文字入力

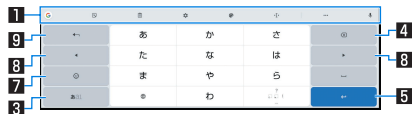
Gboard

画面に表示されるキーボードで、文字を入力できます。

- ここでは、QWERTYと12キーの基本的な操作について説明します。操作方法などは、Gboardのアップデートにより、本書の内容から変更されることがあります。



QWERTYキーボード



テンキーボード

※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 ツールバー

- 文字入力に関する設定などができます。

2 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えます。

3 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。

4 削除キー

- 文字を削除します。

5 確定キー／改行キー

- 入力中の文字の確定や、カーソル位置での改行を行います。

6 スペースキー

- スペースを入力します。

7 絵文字キー

- 絵文字や記号などを表示します。

8 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

9 逆トグルキー／戻すキー

- 入力した文字から逆回しで文字を入力したり、直前に確定した文字を未確定状態に戻したりできます。

通知／充電ランプ

新着メールがある場合や充電中などに通知／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。


表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	新着メールあり

- アプリによっては、通知ランプについて設定できるものがあります。
- ディスプレイが表示されている場合、新着メールをお知らせする通知ランプが点滅しません。ステータスバーが表示される画面でお知らせアイコンを確認してください。
- 充電中にフル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や新着メールの有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン: 新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン: 電池残量や電波状態など端末の状態を表します。
- お知らせアイコン ステータスバー ステータスアイコン
- 
- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。

■ 主なお知らせアイコン一覧

[!]: 電池残量が約15%以下









[M]: 新着Gmailあり (P.61「Gmail」)

[!]: エラー表示













- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

[🔔]: アラーム情報あり (P.72「アラーム」)

[📅]: カレンダーのスケジュール通知あり

	: microSDカード表示 (P.88「ストレージ」)
	: 本体メモリの空き容量低下 (P.88「ストレージ」)
Bluetooth表示 (P.105「Bluetooth®機能」)	
	: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
	: データ受信要求あり
データ送受信表示	
	: 送信表示
	: 受信表示
アプリ表示	
	: アップデートあり
	: アプリのインストール完了
	: オープンネットワークあり (P.79「Wi-Fiの設定」)
テザリング表示 (P.80「テザリング」)	
	: [USB テザリング]が有効
	: [Bluetooth テザリング]が有効
	: 複数のテザリングが有効
	: システム アップデートあり (P.120「システム アップデート」)

■ 主なステータスアイコン一覧

	: アラーム設定中 (P.72「アラーム」)
	~  : 電池残量表示 (P.83「電池」)
<ul style="list-style-type: none"> ● 充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます。 ● 電池の[電池残量]をONにすると、電池マークの右に電池残量をパーセントで表示できます。 	
Wi-Fi電波状態表示 (P.78「Wi-Fi」)	
	~  : レベル表示 (5段階)
	: インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中
	: 機内モード中 (P.78「ネットワークとインターネット」)
マナーモードのモード表示 (P.87「マナーモード」)	
	: マナーモード(パイプ)
	: マナーモード(ミュート)
	: サイレント モード設定中 (P.87「サイレント モード」)
	: Bluetooth通信中 (P.105「Bluetooth®機能」)
	: 位置情報をGPSで測位中 (P.90「位置情報」)

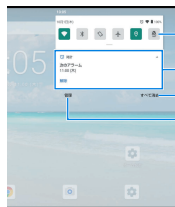
ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

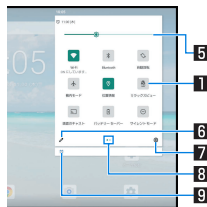
- ステータスパネルが表示されます。
- ステータスパネルをさらに下にドラッグすると、ステータスパネルが展開され、隠れていた機能ボタンなどが表示されます。
- ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグすると、ステータスパネルが展開された状態で表示されます。

2 ステータスパネルを利用する

■ ステータスパネルの見かた



ステータスパネル



ステータスパネル(展開時)

1 機能ボタン

- サイレントモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用、縦画面の反転などについて設定できます。
 - 縦画面の反転についてはP.84「ディスプレイ」
- ロングタッチすると詳細を設定できる場合があります。
- ステータスパネルを展開しているときは、表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

2 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
 - 対応するアプリの起動や操作: 詳細情報や機能をタッチ
 - 詳細表示/簡易表示の切替: 詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト/ピンチイン
 - 詳細情報の消去: 詳細情報を左右にフリック
 - アプリの通知について設定: 詳細情報をロングタッチ▶画面の指示に従って操作

3 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

4 管理

- 通知を表示するアプリが表示されます。
アプリごとに通知を許可するか設定します。

5 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

6 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

7 設定

- 「設定」アプリを起動します。

8 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

9 隠れている通知詳細情報

- 隠れている通知詳細情報をアイコン表示します。
- ステータスパネルを展開していなくても、隠れている情報がある場合は表示されます。

- アプリによっては、通知を受信した際に、ステータスパネルで返信操作などを行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

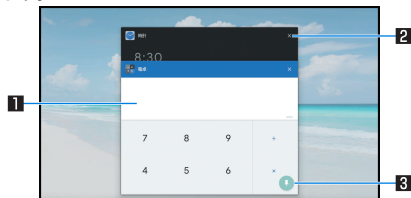
アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 []

2 履歴を利用する

- [] をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。





1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 左右フリックすると履歴を削除できます。
- 画面右上の[すべて消去]をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。
 - アプリの使用履歴が複数ある場合、履歴を下にフリックすると、[すべて消去]が表示されます。

2 履歴消去

- タッチするとアプリの使用履歴を削除できます。

④ 画面の固定

- [画面の固定]がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定についてはP.90「セキュリティ」
 - タッチすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。
 - 画面固定の解除：[] + []をロングタッチ
- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

マルチウィンドウ

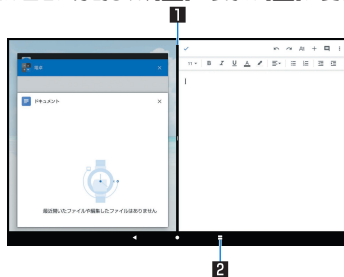
左右に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 []

2 利用したいアプリの使用履歴をロングタッチ

3 画面左端/右端にドラッグして、指を離す

- 画面が左右に分割され、[]の表示が[]に変わります。



① セパレータ

- 左/右にフリックすると、右側/左側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 左/右にドラッグすると、左右の画面サイズを変更することができます。

2 マルチウィンドウキー

- マルチウィンドウ利用中であることを表します。操作方法は[**□**]と同様です。
- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

音声エージェント

本端末のマイクを使って、音声による天気やニュースの検索、アラームの設定などの操作ができます。本端末では、Google アシスタントなどの音声エージェントが利用できます。

- 音声エージェントを利用するには、あらかじめ設定などが必要で、詳しくは各アプリのヘルプなどをご覧ください。

■ 音声エージェント利用時のご注意

- 残響・雑音の少ない場所でご利用ください。
- 大きな声で明瞭にお話してください。
- 一定の速度、抑揚でお話してください。

■ 音声エージェントの切替

1 ホーム画面 ▶ [**⚙**] ▶ [アプリと通知] ▶ [デフォルト アプリ] ▶ [アシストアプリ] ▶ [アシストアプリ]

2 アプリを選ぶ

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリをはじめて起動したときは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の確認画面が表示され、アプリの動作について設定を行います。

- アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。

アプリに必要な許可

アプリが端末のデータやカメラなどを利用することを許可します。

- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

例:カメラを起動したとき

1 [アプリの使用のみ許可] / [許可しない]



- 通常は、機能の利用を許可してください。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

- 1 ホーム画面 ▶ [🔗] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ ▶ [権限]
- 3 機能を選ぶ
- 4 許可するかを選ぶ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

- 1 ホーム画面 ▶ [🔗] ▶ [アプリと通知] ▶ [権限マネージャ]
- 2 機能を選ぶ
- 3 アプリを選ぶ
- 4 許可するかを選ぶ

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- アプリによっては、起動時や機能の設定時に「電池の最適化」の確認画面が表示される場合があります。通常は電池の最適化をしないでください。最適化を行うとアプリが終了する場合があります。
- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ/機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

■ 電池の最適化の設定

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

- 1 ホーム画面 ▶ **[設定]** ▶ **[アプリと通知]** ▶ **[特別なアプリアクセス]** ▶ **[電池の最適化]**
 - 最適化していないアプリの一覧が表示されます。
- 2 **[最適化していないアプリ]** ▶ **[すべてのアプリ]**
- 3 **アプリを選ぶ** ▶ **[最適化する]** / **[最適化しない]** ▶ **[完了]**

ホーム画面

ホーム切替

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - **かんたんホーム**
シンプルなレイアウトで、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。
 - **AQUOS Home**
ウィジェット/ショートカットを配置するデスクトップシート、アプリが一覧表示されるアプリシート、お気に入りアプリのショートカットを登録できるお気に入りトレイで構成されたホームアプリです。

1 ホーム画面 ▶ [ホーム切替]

- ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ホーム切替] と操作しても、ホーム切替の設定項目が表示されます。

2 項目を選ぶ

- **ホーム切替**: ホームアプリを切り替えます。
- **かんたんホーム一括切替**: ホームアプリを [かんたんホーム] に切り替え、フォントサイズを [特大] に設定します。

AQUOS Home

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート/お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。

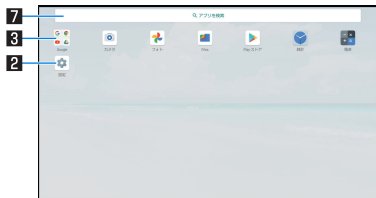
ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ/機能のショートカット/ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ/機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリが表示されます。

AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上をスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 デスクトップシート

- 左右にフリックするとページを切り替えることができます。

2 アプリ

3 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、[名前のないフォルダ]と表示されます。フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

4 ページインジケータ

- デスクトップシートのページを切り替えたときに、現在の表示位置を表示します。

5 お気に入りトレイ

- お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

6 ウィジェット

- Googleウィジェットでは、検索ボックスが表示されます。タッチすると、Google™ 検索を起動できます。
- 時計ウィジェットでは、日付や時刻、次回のアラーム情報が表示されます。タッチすると「時計」アプリを起動できます。

7 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。
[他のアプリを検索]をタッチすると、Google Playで検索できます(※P.70「Play ストア」)。

ホーム画面の管理

■ アプリ／ウィジェット／フォルダの移動

1 ホーム画面／アプリ一覧画面▶アプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを[削除]までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを[アンインストール]までドラッグするとアンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチしてドラッグすると、画面上部に[ホーム画面に追加]が表示されます。[ホーム画面に追加]までドラッグして指を離すと、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの登録

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ウィジェット]
- 2 追加するウィジェットをロングタッチ
 - ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

- 1 ホーム画面／アプリ一覧画面▶アプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選ぶ
 - 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
 - 機能のショートカットをロングタッチ▶登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 設定する壁紙を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

ホーム画面の設定

1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ホームの設定]

2 項目を選ぶ

- **通知ドット**: アプリの通知について設定します。
 - [通知ドットの許可]をONにすると、アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に通知ドットが表示されます。
- **通知ドットに件数表示**: 通知ドットを利用している場合に件数を表示するか設定します。
- **ホーム画面にアイコンを追加**: 新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するか設定します。
- **Google アプリの表示**: ホーム画面の一番左のページを右にフリックしたときに、天気やニュースなどの情報を表示するか設定します。

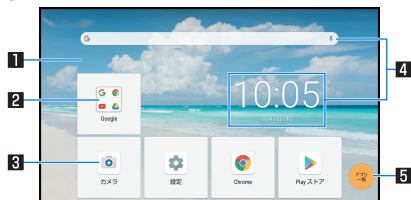
かんたんホーム

シンプルなレイアウトで、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。

- ウィジェット/ショートカットを配置するホーム画面、アプリが表示されるアプリ一覧画面で構成されます。

かんたんホームの見かた

ホーム画面を上をスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 デスクトップシート

- ウィジェット/ショートカットを配置するシートです。左右にフリックするとページを切り替えることができます。

2 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、「名前のないフォルダ」と表示されます。フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

3 アプリ

4 ウィジェット

- Googleウィジェットでは、検索ボックスが表示されます。タッチすると、Google 検索を起動できます。
- 時計ウィジェットでは、日付や時刻、次のアラーム情報が表示されます。タッチすると「時計」アプリを起動できます。

5 アプリ一覧

- タッチするとアプリ一覧画面に切り替わります。

6 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。
[他のアプリを検索]をタッチすると、Google Playで検索できます(※P.70「Play ストア」)。

ホーム画面の管理

■ アプリ/ウィジェット/フォルダの移動

1 ホーム画面/アプリ一覧画面▶アプリ/ウィジェット/フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- ホーム画面のアプリ/ウィジェット/フォルダをロングタッチ▶[削除]と操作すると、ホーム画面から削除できます。ホーム画面/アプリ一覧画面のアプリをロングタッチ▶[アンインストール]と操作すると、アンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチ▶[ホーム画面に追加]と操作すると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの登録

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分、または [アプリ一覧] をロングタッチ ▶ [ウィジェット]
- 2 追加するウィジェットをロングタッチ
 - ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

- 1 ホーム画面 / アプリ一覧画面 ▶ アプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選ぶ
 - 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
 - 機能のショートカットをロングタッチ ▶ 登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定








- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分、または [アプリ一覧] をロングタッチ ▶ [壁紙]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 設定する壁紙を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。








ホーム画面の設定











- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分、または [アプリ一覧] をロングタッチ ▶ [ホームの設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **通知ドット**: アプリの通知について設定します。
 - [通知ドットの許可] をONにすると、アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に通知ドットが表示されます。
 - **通知ドットに件数表示**: 通知ドットを利用している場合に件数を表示するか設定します。
 - **ホーム画面にアイコンを追加**: 新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するか設定します。




主なアプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされている主なアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	アシスタント	Google アシスタントを起動します。
	カメラ	カメラで撮影します(☞P.64「カメラについて」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します(☞P.75「カレンダー」)。
	スプレッドシート	Google スプレッドシート™を使うと、スプレッドシートの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	スライド*	Google スライド™を使うと、プレゼンテーションの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	設定	端末の各種設定をします(☞P.77「設定メニュー」)。
	電卓	電卓を利用します。

アイコン	アプリ	概要
	ドキュメント	Google ドキュメントを使うと、ドキュメントの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します(☞P.72「時計」)。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。
	フォト	静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます(☞P.69「フォト」)。
	ポッドキャスト	Google ポッドキャストは、Android™ユーザー向けの新しいポッドキャストプレーヤーです。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☞P.72「マップ」)。

アイコン	アプリ	概要
	レンズ	カメラや写真を使って目の前にあるものを検索したり、作業を効率化したり、周囲のものについて調べたりすることができます。
	連絡帳	連絡帳を利用します(☞P.58「連絡帳」)。
	Chrome	Wi-Fi機能による接続でサイトを表示します(☞P.61「Chrome」)。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Files	本体メモリやmicroSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができます。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(☞P.61「Gmail™」)。
	Google	端末内やサイトの情報を検索します。
	Google One	Google One™はストレージを拡張するシンプルなプランです。Googleを有効に活用していただける特典も含まれています。
	Google Pay	Google Payでは、買い物に必要な情報を端末に保存しておくことができます。
	Play ストア	Google Playを利用します(☞P.70「Play ストア」)。

アイコン	アプリ	概要
	Playムービー & TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	YouTube	YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。
	YT Music	音楽を再生します。

- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。
- インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア(☞P.70「Play ストア」)などから再度ダウンロードできる場合があります。
- 本製品はQualcomm® aptX™ Adaptive Audioに対応しています。

連絡帳

連絡帳

連絡先の管理ができます。

連絡帳の登録

1 ホーム画面▶「Google」を選ぶ▶[連絡帳]

2 [●]

3 各項目を設定

- 各項目を設定すると、[X]が表示されます。[X]をタッチすると削除できます。



1 画像

- メールの送受信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 保存先

- 複数のアカウントを設定している場合に表示されます。
- タッチすると、保存先のアカウントを選択できます。

3 名前

- [▽]をタッチすると、敬称やミドルネームを登録できます。

4 会社名

5 電話番号

6 メールアドレス

7 その他の項目

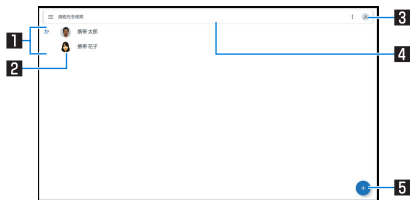
- 住所や誕生日、ラベルなどの情報を登録します。

4 [保存]

連絡帳の確認／利用

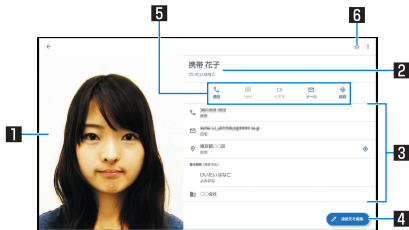
登録した連絡先を呼び出してメールを送信できます。

- 1 ホーム画面▶「Google」を選ぶ▶[連絡帳]
- 2 名前を選ぶ



- 1 連絡先
- 2 画像
- 3 アカウント
 - 連絡先を表示するアカウントです。
 - タッチして表示するアカウントを選択してください。
- 4 検索ボックス
- 5 新規作成アイコン

3 登録情報を確認／利用する



- 1 画像
- 2 名前
- 3 登録内容
 - 登録内容を確認／利用できます。
- 4 連絡先を編集
- 5 操作アイコン
 - メール送信や経路検索など、登録内容を利用した操作ができます。
- 6 お気に入り
 - お気に入りに設定した連絡先は、連絡帳の上部に表示されます。

■ 連絡先の設定

連絡先の削除や共有、ショートカットの作成などができます。

1 ホーム画面 ▶ 「Google」を選ぶ ▶ [連絡帳]

2 名前を選ぶ

3 [:] ▶ 機能を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

連絡帳を設定

1 ホーム画面 ▶ 「Google」を選ぶ ▶ [連絡帳]

2 [=] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **自分の情報**: 自分の情報を入力します。
- **アカウント**: アカウントについてはP.35「Googleなどのアカウントの設定を行う」
- **連絡先の同期設定**: 連絡先の同期について設定します。
- **テーマ**: 連絡帳のテーマを設定します。
- **新しい連絡先のデフォルト アカウント**: 連絡先を登録する際に、デフォルトで設定されるアカウントを選択します。
- **よみがな**: 連絡先編集時のよみがなの表示について設定します。
- **インポート**: 連絡先データを読み込みます。
- **エクスポート**: 連絡先データを書き出します。書き出したデータを共有することができます。
- **復元**: バックアップから連絡先を復元します。
- **変更を元に戻す**: 連絡先リストを指定のタイミングの状態に戻します。

メール／ウェブブラウザ

Gmailなどを利用してメールを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

Gmail™

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailについて詳しくは、Gmail画面で[≡]▶[ヘルプとフィードバック]と操作して、ヘルプを参照してください。

1 ホーム画面▶「Google」を選ぶ▶[Gmail]

2 [+]

3 宛先を入力

- Cc/Bcc入力欄の追加:宛先入力欄の[∨]をタッチ

4 件名、本文を入力

- ファイルの添付:[@]▶ファイルの添付方法を選ぶ▶添付するファイルを選ぶ

5 [▶]

メールの表示

1 ホーム画面▶「Google」を選ぶ▶[Gmail]

2 メールを確認する

Chrome

Wi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

サイトの表示

1 ホーム画面▶[🌐]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力▶キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して[→]でも検索できます。
- ページの再読み込み:Chrome画面で[🔄]

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で[+]

- 新しいタブが表示されます。タブを選択することで、表示するサイトを切り替えることができます。
- タブを閉じる:Chrome画面で[X]

■ シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[:]▶[新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

2 URL入力欄をタッチ▶キーワードを入力▶[→]

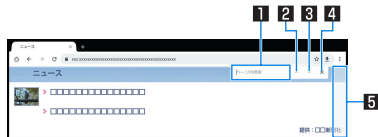
- シークレット タブを閉じる:Chrome画面で[X]

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(※P.63「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。シークレットタブでもファイルのダウンロードやブックマークの登録は行えます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[:]▶[ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更:[●]/[●]をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ▶ 利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[:]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **Chrome にログイン**: GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **同期と Google サービス**: 同期設定やGoogleサービスを設定します。
- **検索エンジン**: URL入力欄から検索するとき利用する検索エンジンを設定します。
- **パスワード**: パスワードの保存について設定します。
- **お支払い方法**: フォームに自動入力するお支払い方法について設定します。
- **住所やその他の情報**: フォームに自動入力する住所やその他の情報について設定します。
- **通知**: Chromeからの通知について設定します。
- **ホームページ**: ホームページを設定します。
- **テーマ**: Chromeのテーマを設定します。
- **プライバシー**: 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。

- **ユーザー補助機能**: 文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**: サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **言語**: サイトを表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
- **ライトモード**: データ使用量を抑えるようにするか設定します。
- **ダウンロード**: ファイルや記事のダウンロードについて設定します。
- **Chrome について**: Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

カメラ/フォト

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数や記録ファイル形式、ズームの最大倍率などについてはP.123「主な仕様」
- 縦画面で撮影する場合、[縦画面の反転]で画面表示の上下を反転できます(P.84「ディスプレイ」)。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。

- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- 電池残量が少ないと、撮影中に電源が切れる恐れがあります。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影解像度を大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、[ちらつき防止]をONにしたりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠(Exif Ver.2.2、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影解像度

設定できる撮影解像度は次のとおりです。

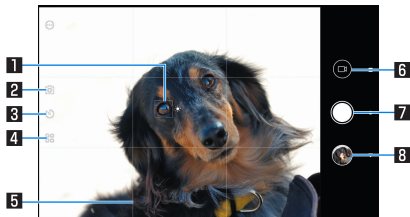
静止画撮影

アウトカメラ	4:3	8メガピクセル
	16:10	7メガピクセル
	16:9	6メガピクセル
インカメラ	4:3	8メガピクセル
	16:10	7メガピクセル
	16:9	6メガピクセル

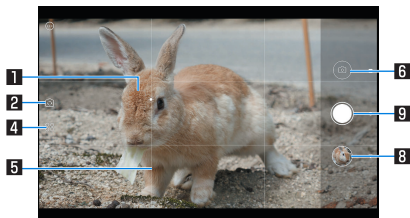
動画撮影

アウトカメラ	FHD 1080p
	HD 720p
	SD 480p
インカメラ	FHD 1080p
	HD 720p
	SD 480p

撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影画面

1 フォーカスマーク

- 被写体をタッチするとフォーカスマークが表示されます。被写体にフォーカスが合うと、フォーカスマークの右側に [🔍] が表示されます。
 - [🔍] を上下にスライドすると、明るさを調整できます。
 - カメラの向きを変えるなどしてオートフォーカスが動作したり、別の被写体をタッチしたりするとフォーカスは解除されます。また、明るさの設定も解除されます。
- 静止画撮影時に人の顔を検出した場合は、自動でフォーカスマークを表示します。

2 イン/アウトカメラ切替

3 セルフトイマー

- タッチするとセルフトイマーの設定を [OFF] / [3秒] / [5秒] / [10秒] から選択できます。

4 撮影メニュー

- 利用できる撮影メニューが表示されます (P.67「撮影メニューの切替」)。

5 ガイド線

- [ガイド線] を設定していると表示されます (P.68「カメラの設定」)。

6 静止画撮影/動画撮影切替

- タッチすると静止画撮影/動画撮影を切り替えることができます。

7 静止画撮影

- 静止画を撮影します。

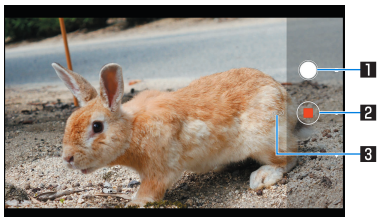
8 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。

9 動画撮影開始

- 動画を撮影します。

■ 動画撮影中画面



1 静止画撮影

2 動画撮影停止

3 撮影時間

■ 撮影メニューの切替

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [📷]

3 項目を選ぶ

- **スクエア**: 正方形の静止画を撮影します。
- **タイムラプス(3倍速)**: 時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。
- [✕] をタッチすると撮影メニューを終了します。

[タイムラプス(3倍速)]について

- アウトカメラで利用できます。
- 再生スピードが3倍速になるように設定されています。変更はできません。

静止画の撮影

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [📷]

- [📷] が表示されているときは、操作する必要はありません。

3 本端末のカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作については P.66「撮影画面の見かた」
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン

4 [📷] / [⏪] / [⏩]

- [連写撮影] が ON の場合、[📷] をロングタッチ、または [⏪] / [⏩] を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます (P.68「カメラの設定」)。

動画の撮影

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [📷]

- [📷]が表示されているときは、操作する必要はありません。

3 本端末のカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作についてはP.66「撮影画面の見かた」
- ズーム:ピンチアウト/ピンチイン

4 [📷] / [⏏] / [⏏]

- 動画撮影中に[📷]をタッチすると静止画の撮影ができます。

5 [📷] / [⏏] / [⏏]

カメラの設定

- 静止画撮影/動画撮影や撮影メニューなどによって、設定項目の有無は異なります。

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [📷] / [📷]

3 [📷]

4 項目を選ぶ

- **HDR**:逆光などコントラストが強いシーンで、白とび/黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能の設定をします。
- **写真の手ブレ補正**:手ぶれを補正するか設定します。
- **ちらつき防止**:ONにすると、蛍光灯によるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。OFFのときは、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。
- **連写撮影**: [📷]をロングタッチ、または[⏏]/[⏏]を1秒以上押し、静止画を連続撮影するか設定します。
- **ガイド線**:撮影画面にガイド線を表示するか設定します。
- **インカメラのミラーモード**:インカメラで撮影した静止画を左右反転して保存するか設定します。
- **位置情報付加**:位置情報を付加するか設定します。
- **保存先設定**:保存先を設定します。
- **解像度**:静止画/動画の解像度を切り替えます。
- **設定リセット**:設定をリセットします。

【保存先設定】について

- 本端末を管理者以外のユーザーやゲストが使用している場合、保存先は本体のみとなります。

フォト

静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます。

1 ホーム画面 ▶ [📁]

2 データを選ぶ

- データをゴミ箱に移動: データをロングタッチ ▶ [🗑️] ▶ [ゴミ箱に移動]

3 データを確認する

- 「フォト」アプリはPlayストアより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ ▶ [ヘルプとフィードバック] と操作し、内容をご確認ください。
- 不要な静止画や動画はゴミ箱に移動しても、本端末からは削除されていません。ゴミ箱を空にすると本端末から削除できます。
- 以前利用していた端末で撮影したデータがmicroSDカード内に保存されている場合などは、ステータスパネルの通知詳細情報に「写真の整理」の通知が表示されることがあります。表示された場合は、通知内容をご確認いただき、写真の整理を行ってください。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

■ ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[ライブラリ] ▶ [ゴミ箱]

2 [:] ▶ [ゴミ箱を空にする] ▶ [ゴミ箱を空にする]

アプリ

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください
(※P.35「Googleなどのアカウントの設定を行う」)。

1 ホーム画面 ▶ [Play ストア]

- ヘルプの表示: [☰] ▶ [ヘルプとフィードバック]
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき: [インストール]
- アプリの初回購入時は、画面の指示に従って支払い方法を設定してください。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で[☰] ▶ [ヘルプとフィードバック]をご覧ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

- 1 Google Play画面で[≡]▶[マイアプリ & ゲーム]
- 2 [インストール済み]
- 3 アンインストールするアプリを選ぶ
- 4 [アンインストール]▶[OK]

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります(※P.90「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい場合位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内

- 大雨や雪などの悪天候
- かばんや箱の中
- 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
- GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります(☞P.90「位置情報」)。
- マップについて詳しくは、マップ画面で[☰]▶[ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。

1 ホーム画面▶「Google」を選ぶ▶[マップ]

2 マップを利用する

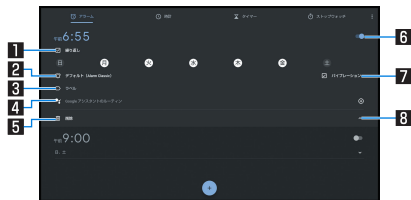
時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]▶[アラーム]
- 2 登録先の時刻をタッチ
 - 登録先の追加:[+]
- 3 時刻を選ぶ▶[OK]
- 4 各項目を設定



1 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

2 アラーム音

- アラーム音を設定します。

3 ラベル

- ラベルを入力します。

4 Google アシスタントのルーティン

- アラームを解除したときにGoogle アシスタントが行う動作を設定します。

5 削除

- アラームを削除します。

6 アラームON/OFF

- アラームの有効/無効を切り替えます。

7 バイブレーション

- バイブレータを利用するか設定します。

8 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[🔊]を[🔇]までスライド

- スヌーズの利用:[🔊]を[🔇]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[解除]

- スヌーズの利用:[スヌーズ]

■ アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[🔊]▶[設定]

2 アラームの音量欄で音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]▶[時計]

2 [🌐]

3 都市名を入力

- 入力した文字を含む都市を一覧表示します。

4 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]
▶[タイマー]

2 時間を入力▶[▶]

- 時間を1分追加:[+1:00]
- カウントダウンの停止:[■]
- カウントダウンのリセット:[リセット]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
 - アラーム音の停止:[○]
- タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にタイマー設定時刻になると、通知が表示されます。通知の[停止]をタッチして、アラームを止めることができます。また、[1分追加]をタッチすると、タッチしてから1分後にアラームでお知らせします。

■ 名称の変更

1 タイマー画面で[ラベル]

2 名称を入力▶[OK]

■ タイマーの追加

1 タイマー画面で[タイマーを追加]

- タイマーの切替:上下にスライド

■ タイマーの削除

1 タイマー画面で[削除]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)/スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]
▶[ストップウォッチ]

2 [▶]

- ラップタイム/スプリットタイムの計測:[ラップ]

3 [■]

- 計測結果の共有:[共有]
- 計測結果のリセット:[リセット]

- ラップタイム/スプリットタイムを99件まで表示できます。

カレンダー

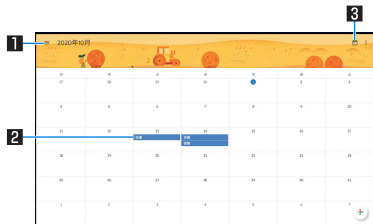
カレンダーを利用してスケジュールの管理ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(※P.35「Googleなどのアカウントの設定を行う」)。

1 ホーム画面▶「Google」を選ぶ▶[カレンダー]

- 初回起動時には説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 スケジュールを確認する



1 表示切替

- カレンダーの表示方法を切り替えます。

2 登録されているスケジュール

3 今日を表示

スケジュールの作成

- 利用するアカウントによっては、設定する項目などが異なる場合があります。

1 カレンダー画面で▶[+]▶[予定]

2 各項目を設定



1 タイトル

2 カレンダー

- カレンダーのオーナーを設定します。

3 終日

- 終日設定を切り替えます。

4 開始日時

5 終了日時

6 タイムゾーン

- 予定のタイムゾーンを設定します。

7 繰り返し

- 予定の繰り返しを設定します。

8 ユーザーを追加

- 追加する相手のメールアドレスを入力します。

9 場所を追加

10 通知

- 予定の通知タイミングや方法を設定します。
- [通知を追加]をタッチすると、通知の設定を追加できます。

11 会議を追加

12 予定の色

- 予定の色を設定します。

13 説明を追加

14 添付ファイルを追加

3 [保存]

カレンダーの設定

1 カレンダー画面で[≡]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **全般**: カレンダー全般について設定します。
- **Gmail から予定を作成**: Gmailで予定に関するメールを受信すると、自動的にスケジュールを追加するか設定します。
- カレンダーを選べると、予定の色やデフォルトの通知などを設定できます。

スケジュールの削除

1 カレンダー画面でスケジュールを選ぶ

2 [:]▶[削除]▶[削除]

本体設定

設定メニュー

ホーム画面▶**[設定]**で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 先頭には、おすすめの設定が候補として表示されます。
- 本体設定を表示中に**[検索]**▶検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[詳細設定]をタッチするとメニューが表示されます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能などのネットワークについて設定します。
接続済みのデバイス	Bluetooth機能などについて設定します。
アプリと通知	アプリや通知について設定します。
電池	電池の利用状況の確認や設定、バッテリーセーバーの起動などを行います。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
音	お知らせ音などについて設定します。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。
ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量/合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

プライバシー	権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
セキュリティ	セキュリティロックなどについて設定します。
アカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
Digital Wellbeing と保護者による 使用制限	本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、端末の使用制限について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
タブレット情報	タブレット情報の確認ができます。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

ネットワークとインターネット

Wi-Fi機能などのネットワークについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi**: Wi-FiについてはP.78「Wi-Fi」
- **機内モード**: メールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **テザリング**: テザリングについてはP.80「テザリング」
- **プロキシ設定**: プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。
- **データセーバー**: 一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
 - データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[無制限のデータアクセス]から設定することができます。
- **VPN**: VPNについてはP.113「VPNの追加」
- **プライベート DNS**: プライベート DNSの設定をします。

[機内モード]について

- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

Wi-Fi

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN (IEEE802.11b/g/n) と Bluetooth機器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。

1 ホーム画面▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 [Wi-Fiの使用]をONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
 - 接続するアクセスポイントがQRコード読み取り接続に対応している場合は、[QR]をタッチし、QRコードを読み取って接続できます。
 - アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加]▶ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]
 - [保存済みネットワーク]をタッチすると、接続したことのあるアクセスポイントを表示します。
 - [Wi-Fi データ使用量]をタッチすると、Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。
- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み]と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。
なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定として Enhanced Open、WEP、WPA/WPA2-Personal、WPA3-Personal、WPA/WPA2/WPA3-Enterprise、WPA3-Enterprise 192-bitに対応しています。

■ Wi-Fiの設定

1 ホーム画面▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]▶[Wi-Fi 設定]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi を自動的に ON にする**:保存済みネットワークの検出時に[Wi-Fi]をONにするか設定します。
- **オープン ネットワークの通知**:オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fi]をONにしてから設定してください。
- **証明書のインストール**:証明書をインストールします。
- **ネットワーク評価プロバイダ**:ネットワーク評価プロバイダについて設定します。
- **Wi-Fi Direct**:Wi-Fi Directについて設定します。
- **MAC アドレス**:MACアドレスを確認できます。
- **IP アドレス**:IPアドレスを確認できます。

■ アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ▶[削除]

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、USBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USBケーブルで接続したパソコン1台、Bluetooth機器4台の計5台です。
- Bluetooth テザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(☞P.107「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[テザリング]

2 項目を選ぶ

- **USB テザリング**: USB テザリングを利用するか設定します。
- **Bluetooth テザリング**: Bluetooth テザリングを利用するか設定します。

[USB テザリング]について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 8.1、Windows 10の場合にご利用いただけます。
- USB テザリング中は、本端末のストレージ(本体メモリやmicroSDカード)をパソコンでマウントすることはできません。
- USB テザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

接続済みのデバイス

Bluetooth機能などについて設定します。

1 ホーム画面▶[設定]▶[接続済みのデバイス]

- 接続中/接続解除中のBluetooth機器が表示されます。詳しくは☞P.108「Bluetooth機器の管理」

2 項目を選ぶ

- **USB**: パソコンなどと接続した際のUSB接続の用途について設定します。USB接続については☞P.110「パソコンなどとの接続」
- **新しいデバイスとペア設定する**: 使用可能なBluetooth機器とのペア設定ができます。操作については☞P.107「Bluetooth機能の利用」
- **接続の設定**: 接続の設定については☞P.81「接続の設定」

■ 接続の設定

1 ホーム画面 ▶ [🔌] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]

2 項目を選ぶ

- **Bluetooth**: Bluetooth機能についてはP.105「Bluetooth®機能」
- **キャスト**: キャストについてはP.113「キャスト」
- **印刷**: 印刷用アプリ(プラグイン)をインストールして、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。
- **Bluetooth で受信したファイル**: Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。
- **Chromebook**: Chromebook™との接続について設定します。
- **ニアバイシェア**: ニアバイシェアでの接続について設定します。

■ 印刷用アプリ(プラグイン)の利用

インストールした印刷用アプリ(プラグイン)を設定できます。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [🔌] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アプリと通知

アプリや通知について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [🔌] ▶ [アプリと通知]

2 項目を選ぶ

- **最近開いたアプリ**: 最近開いたアプリやアプリ情報についてはP.82「アプリ情報」
- **通知**: アプリの通知について設定します。
- **利用時間**: アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに、使用できる1日の最大時間などを設定できます。
- **デフォルト アプリ**: デフォルトで起動するアプリを設定します。
- **権限マネージャ**: 権限マネージャについてはP.48「利用する機能について設定」
- **特別なアプリアクセス**: 電池の最適化やシステム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

■ ロック画面の通知

タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。

- 1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [通知]
- 3 [ロック画面上の通知] ▶ 通知の表示設定を選ぶ

- ロック画面の表示に関する他の設定などについてはP.85「ロック画面の表示」

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

- 1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
 - [最近開いたアプリ]欄に利用するアプリが表示されている場合は、アプリを選択してアプリ情報を確認することもできます。

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリ一覧画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

- 1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [無効にする] ▶ [アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

- 1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [有効にする]

電池

電池の利用状況の確認や設定、バッテリーセーバーの起動などを行います。

1 ホーム画面 ▶ [🔋] ▶ [電池]

- 電池残量や利用状況などが表示されます。
- [⋮] ▶ [電池使用量]と操作すると、アプリごとの電池使用量を確認できます。アプリごとの電池使用量は、次のタイミングでリセットされます。
 - 電池残量90%以上まで充電し、充電機器を取り外したとき
 - 充電中ではなく、電池残量が90%以上ある状態で、本端末の電源が入ったとき

2 項目を選ぶ

- **バッテリーセーバー**:バッテリーセーバーについては [P.83「バッテリーセーバー」](#)
- **自動調整バッテリー**:使用頻度の低いアプリの電池使用量を自動調整するか設定します。
- **電池残量**:ステータスバーに電池残量をパーセント表示するか設定します。
- **前回のフル充電**:フル充電後から経過した時間を確認できます。
- **最後にフル充電してからの使用時間**:フル充電後の電池使用時間を確認できます。

- 電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。電池の最適化の設定については [P.49「電池の最適化の設定」](#)

バッテリーセーバー

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面 ▶ [🔋] ▶ [電池] ▶ [バッテリーセーバー]

- [今すぐONにする] / [今すぐOFFにする]をタッチすると電池残量に関係なく[バッテリーセーバー]のON/OFFを設定できます。

2 項目を選ぶ

- **スケジュールの設定**: [残量に基づく]を設定すると、設定した電池残量以下になった場合に、バッテリーセーバーを自動でONにできます。
- **フル充電で無効**:電池残量が90%になった場合に、バッテリーセーバーを自動でOFFにするか設定します。

- 充電を開始するとバッテリーセーバーはOFFになります。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **明るさのレベル**: 明るさ調整バーをドラッグして画面の明るさを調整します。
- **リラックスビュー**: リラックスビューについては P.85 「リラックスビュー」
- **明るさの自動調節**: 画面の明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- **壁紙**: ホーム画面やタッチパネルのロック画面の画像を設定します。
- **ダークテーマ**: 黒基調の画面になるダークテーマを利用するか設定します。
- **画面消灯**: 画面の点灯時間を設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **縦画面の反転**: 縦画面表示の上下を反転させるか設定します。
- **文字フォント設定**: 文字のサイズやフォントについて設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **スクリーンセーバー**: スクリーンセーバーの種類や起動するタイミングを設定します。

- **ロック画面の表示**: ロック画面の表示については P.85 「ロック画面の表示」

[明るさのレベル]について

- ディスプレイの明るさを上げると、電池の使用時間が短くなりますので、ご注意ください。

[画面消灯]について

- 点灯時間を長くすると、電池の使用時間が短くなりますので、ご注意ください。

[縦画面の反転]について

- 設定のON/OFFを切り替えると、「設定」以外のすべてのアプリが終了します。編集中のデータは失われる可能性がありますので、あらかじめ保存しておいてください。
- 一部アプリでは、カメラ撮影画像や方位などが正しく表示されない場合があります。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

リラックスビュー

目に優しい画質の利用について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [リラックスビュー]

- [今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] をタッチすると [リラックスビュー] の ON/OFF を設定できます。[今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] は [スケジュール] を設定すると設定内容に合わせ表示が切り替わります。

2 項目を選ぶ

- **スケジュール**: 特定の時間帯に [リラックスビュー] を ON にするか設定します。[指定した時間に ON] に設定すると [開始時間] や [終了時間] を設定できます。
- **輝度**: [リラックスビュー] が ON の場合の輝度を調整します。

ロック画面の表示

ロック画面の表示について設定します。

- 画面ロックを [なし] 以外に設定しているときに利用できます。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ディスプレイ] ▶ [詳細設定] ▶ [ロック画面の表示]

2 項目を選ぶ

- **ロック画面**: タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。
- **ロック画面からユーザーを追加**: ロック画面でユーザーを選ぶ際に、ユーザーを追加できるようにするか設定します。複数ユーザーでの利用については P.100「複数ユーザー」
- **ロック画面メッセージ**: タッチパネルのロック画面に表示するメッセージを設定します。
- **ロックダウン オプションの表示**: [電源キー] を 1 秒以上押したときに表示されるメニューに、[ロックダウン] を表示するか設定します。
[ロックダウン] をタッチすると、Smart Lock や指紋認証によるロック解除、ロック画面上の通知を無効にします。

[ロック画面]について

- [ロック解除時のみプライベートな内容を表示]を選択すると、ロック画面に表示する通知で、通知件数などの詳細を表示しないようにします。
 - [ロック解除時のみプライベートな内容を表示]は、画面ロックを[スワイプ]以外に設定しているときに利用できます。

[ロックダウン オプションの表示]について

- 画面ロックを[スワイプ]以外に設定しているときに利用できます。

音

お知らせ音などについて設定します。

1 ホーム画面▶[設定]▶[音]

2 項目を選ぶ




- **メディアの音量**:メディア音(音楽や動画など)の音量を設定します。
- **アラームの音量**:アラームの音量を設定します。
- **通知の音量**:通知の音量を設定します。
- **サイレントモード**:サイレントモードについては、[P.87「サイレントモード」](#)
- **デフォルトの通知音**:お知らせ音を設定します。
- **デフォルトのアラーム音**:アラーム音を設定します。
- **画面ロック音**:タッチパネルのロック/ロック解除時の操作音の有無を設定します。
- **充電時の音とバイブレーション**:充電を開始したときの音とバイブレーションの有無を設定します。
- **タッチ操作音**:メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。
- **タップ操作時のバイブ**:ナビゲーションバーなどに表示されるキーをタッチしたときにバイブレータを動作させるか設定します。

マナーモード

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

- マナーモードやサイレントモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 動画撮影時の開始音/停止音

1 / ▶ アイコンをタッチしてモードを選ぶ

- 設定するマナーモードが表示されるまで繰り返しタッチします。
 -  : マナーOFF
 -  : マナーモード(バイブ)
 -  : マナーモード(ミュート)

■ サイレントモード

端末で鳴る音などについて、より詳細に設定します。

1 ホーム画面▶▶[音]▶[サイレントモード]

- ステータスパネルで[サイレントモード]をロングタッチしても、設定画面を表示できます。
- [今すぐONにする]/[今すぐOFFにする]をタッチすると、[デフォルトの期間]/[スケジュール]で設定した内容にかかわらずサイレントモードのON/OFFを切り替えられます。

2 項目を選ぶ

- **SMS、MMS、メッセージアプリ**:メッセージが届いた場合の例外動作を設定します。
 - 本端末ではSMSを受信できません。
- **すべての例外を表示**: [サイレントモード]がONの場合の例外動作を設定します。
- **通知の制限**:通知が届いた場合の動作を設定します。
- **デフォルトの期間**: [サイレントモード]がOFFになるまでの期間を設定します。[スケジュール]が設定された場合は[スケジュール]の設定に従います。
- **スケジュール**: [サイレントモード]のON/OFFが自動的に切り替わるルールを設定します。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

- 保存データの管理についてはP.103「ファイル操作」

1 ホーム画面▶[設定]▶[ストレージ]

- 本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量が表示されます。
 - microSDカードやUSBメモリを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- [SDカード]やUSBメモリ名を選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除:[SDカード]やUSBメモリ名の[▲]
- microSDカードやUSBメモリをマウント:[SDカード]／USBメモリ名を選ぶ▶[マウント]

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

- 1 ホーム画面▶[設定]▶[ストレージ]
- 2 [SDカード]／USBメモリ名を選ぶ
- 3 [:]▶[ストレージの設定]▶[フォーマット]▶[SDカードをフォーマット]／[USBドライブをフォーマット]
- 4 [完了]

- 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカードの暗号化／暗号化解除

microSDカードを暗号化すると、microSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。通常のmicroSDカードとして使用するには、暗号化を解除する必要があります。

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面ロックを[PIN]または[パスワード]に設定しておいてください。
 - 画面ロックについてはP.90「セキュリティ」

- 1 ホーム画面▶[設定]▶[ストレージ]
- 2 [SDカード]

3 [:] ▶ [ストレージの設定] ▶ [暗号化] / [暗号化解除] ▶ [確認]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

4 [開始]

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態で[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、暗号化していない別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

プライバシー

権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [プライバシー]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [📶] ▶ [位置情報]

2 [位置情報の使用]をONにする

- [最近の位置情報リクエスト]がある場合は、アプリをタッチすると情報を確認できます。
 - ・ [すべて表示]をタッチすると一覧が表示されます。

3 項目を選ぶ

- **アプリの権限**:位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
- **Androidサービス以外の権限**:Androidサービス以外の位置情報に対するアクセス権限を変更します。
- **Wi-FiのスキャンとBluetoothのスキャン**:位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-FiネットワークやBluetooth機器をスキャンするか設定できます。
 - ・ ONにすると、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をOFFにしている場合もスキャンします。
- 端末にGoogleアカウントを登録している場合は、Googleの位置情報サービスを利用できます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

セキュリティ

セキュリティロックなどについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [📶] ▶ [セキュリティ]



2 項目を選ぶ

- **Google Play プロテクト**:アプリや本端末に不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
- **デバイスを探す**:Googleアカウントによる遠隔操作で、本端末の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックや[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を実行できるようにするか設定します。
- **セキュリティ アップデート**:システム アップデートを行います。システム アップデートについてはP.120「システム アップデート」
- **Google Play システム アップデート**:Google Play システムレベルのアップデートを確認します。
- **画面ロック**:タッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック動作について設定します。
- **指紋**:指紋認証に使う指の指紋を登録します。指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。指紋認証についてはP.92「指紋認証」
- **Smart Lock**:画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できるデバイスなどを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプで解除するように設定します。
- **デバイス管理アプリ**:アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。


- **暗号化と認証情報**: 端末の暗号化の状態を確認したり、認証情報について設定します。
- **信頼エージェント**: タッチパネルのロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- **画面の固定**: 選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法についてはP.45「アプリ使用履歴」

[画面ロック]について

- 設定項目は次のとおりです。
 - なし: タッチパネルのロック画面を表示しません。
 - スワイプ: 画面を上をスワイプしてロックを解除するように設定します。
 - パターン: 4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
 - PIN: 4~16桁の数字を設定します。
 - パスワード: 4~16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - 一部の半角記号は利用できません。
- [PIN] / [パスワード]の入力時は[・]で表示されます。
- 画面ロックを[パターン] / [PIN] / [パスワード]に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。
- 指紋を登録している場合は指紋認証でも解除することができます。
 - 指紋認証に5回連続して失敗すると、一定時間指紋によるロック解除ができなくなります。しばらくしてから再度操作するか、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

- [パターン] / [PIN] / [パスワード]の入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
 - 5回連続: 30秒間
 - 10回連続: 30秒間
 10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力ができません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。
- 画面ロックのをタッチすると、次の項目を設定することができます。画面ロックの設定によって、表示される項目は異なります。
 - パターンを表示する: パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - 自動ロック: タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする:  (電源キー)を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
- 設定する[PIN] / [パスワード]は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した内容はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- [パターン] / [PIN] / [パスワード]は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- [パターン] / [PIN] / [パスワード]を忘れた場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせください。

[Smart Lock]について

- Smart Lock利用中、タッチパネルのロック画面で[]などの解除アイコンをロングタッチすると、Smart Lockを一時無効にできます。

[暗号化と認証情報]について

- 証明書を削除した場合、[信頼できる認証情報]からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。
- [認証ストレージの消去]をタッチすると、VPNの設定も削除されます。

指紋認証

指紋認証は、指紋センサーを指でタッチして行う認証機能です。タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指紋センサーを正しく指でタッチした際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
 - 指が泥や油で汚れている
 - 指が汗などで濡れている
 - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本端末を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

■ 指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください(☞P.90「セキュリティ」)。

1 ホーム画面▶[]▶[セキュリティ]▶[指紋]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 [次へ]

3 [次へ]

4 指紋センサーを指の腹でタッチ

- 広い範囲の指紋を登録するため、指紋センサーに触れる部分を少しずつずらしながら、繰り返しタッチしてください。
- 指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。
 - 指紋認証ができない場合は、画面ロックで設定した方法でロックを解除します。

5 [完了]

- 続けて別の指紋を登録する場合は、[別の指紋を登録]を選択してください。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

■ 指紋の管理

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [指紋]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 指紋を管理する

- 指紋を追加: [指紋を追加] ▶ 画面の指示に従って操作
- 登録名の変更: 登録済みの指紋をタッチ ▶ 名前を入力 ▶ [OK]
- 登録した指紋の削除: 登録済み指紋の [削除] ▶ [削除]

■ 指紋認証機能の利用

1 画面消灯中／タッチパネルのロック画面／指紋の認証画面で指紋センサーを指の腹でタッチ

- 画面消灯中に操作すると、タッチパネルのロックが解除され、ディスプレイが表示されます。
- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

■ 指紋センサーをホームキーとして使う

指紋センサーをホームキーとして使うことができます。また、画面消灯中に指紋センサーをタッチして、ディスプレイを表示することができます。

- 指紋を登録していなかったり、登録した指紋と異なる指でタッチしても操作できます。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [操作] ▶ [指紋センサーをホームキーとして使う]

■ 指紋センサー長押し

指紋センサーをロングタッチすることでショートカットキーとして使うことができます。

- あらかじめ [指紋センサーをホームキーとして使う] を ON にしておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [操作] ▶ [指紋センサー長押し] の [ON] / [OFF]

- [指紋センサー長押し] をタッチすると起動する機能を変更することができます。

アカウント

Googleなどのアカウントの設定については [P.35](#)
「Googleなどのアカウントの設定を行う」

データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [アカウント]

2 [自動的にデータを同期] ▶ [OK]

- 同期する項目の設定: アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期] ▶ 項目を選ぶ
- 本体メモリの連絡帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- [自動的にデータを同期]がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [アカウント]

2 アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期]

3 同期する項目を選ぶ

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **音量キーのショートカット**: 対応するアプリ(サービス)をインストールすると、音量キーによる機能の利用について設定できます。
- **テキスト読み上げの設定**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **フォントサイズ**: 文字のサイズを設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **ダークテーマ**: 黒基調の画面になるダークテーマを利用するか設定します。
- **拡大**: ディスプレイを3回タッチするか [拡大] をタッチして拡大/縮小するか設定します。
- **色補正**: ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
- **色反転**: ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- **大きなマウスポインタ**: ポインタを大きくするか設定します。
- **アニメーションの削除**: 表示のアニメーションを省略するか設定します。
- **停止時間**: ポインタが停止した際の動作を設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。

- **長押しする時間**: ロングタッチする時間を設定します。
- **操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)**: 短い時間しか表示されないメッセージの表示時間を指定できます。
- **バイブレーションと触覚フィードバックの強さ**: 通知時やタッチ操作時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **モノラル音声**: 音声再生時のチャンネルを統合するか設定します。
- **オーディオ バランス**: 左右のスピーカーの音量バランスを設定します。
- **字幕の設定**: 字幕の表示について設定します。
- **高コントラストテキスト**: 端末に表示される文字色のコントラストを高くて表示するか設定します。
- その他のユーザー補助サービスが表示された場合は、画面の指示に従ってください。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。

1 ホーム画面 ▶ [🔒] ▶ [Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

- Digital Wellbeing ツールが展開されていない場合は、[データを表示]をタッチして項目を表示してください。
- 端末の使用制限について設定する場合は、[保護者による使用制限を設定する]をタッチし、画面の指示に従って操作してください。

2 項目を選ぶ

- **ダッシュボード**: 端末の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
- **おやすみモード**: 指定した時間に画面をグレースケールにしたり、サイレント モードを設定したりします。
- **フォーカス モード**: アプリを一時停止できます。
- **通知を管理**: アプリごとに通知を許可するか設定します。
- **サイレント モード**: サイレント モードについては [P.87「サイレント モード」]
- **アプリの一覧にアイコンを表示**: ホーム画面(アプリ一覧)に Digital Wellbeing と保護者による使用制限のアイコンを表示するか設定します。

Google™

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面 ▶ [🔒] ▶ [Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

システム

画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [システム]

2 項目を選ぶ

- **言語と入力**: 言語と入力については P.98「言語と入力」
- **操作**: 操作については P.99「操作」
- **日付と時刻**: 日付と時刻については P.99「日付と時刻」
- **バックアップ**: Googleアカウントを利用して、アプリのデータや本端末の設定などを自動的にバックアップするか設定します。
- **リセット オプション**: リセット オプションについては P.100「リセット オプション」
- **複数ユーザー**: 複数ユーザーについては P.100「複数ユーザー」
- **システム アップデート**: システム アップデートについては P.120「システム アップデート」

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [システム] ▶ [言語と入力]

2 項目を選ぶ

- **言語**: 表示言語を選択します。
- **仮想キーボード**: ソフトウェアキーボードについて設定します。
- **物理キーボード**: Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- **スペルチェック**: スペルチェックについて設定します。
- **自動入力サービス**: 自動入力サービスについて設定します。
 - [⚙️] をタッチすると、Googleアカウントを利用した自動入力について設定できます。
- **単語リスト**: 任意の単語を単語リストに登録します。
- **ポインタの速度**: ポインタの速度を設定します。
- **テキスト読み上げの設定**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

[スペルチェック]について

- 日本語には対応していません。

操作

指紋センサーや \square (電源キー)を押したときの動作について設定します。

1 ホーム画面▶ \square ▶[システム]▶[操作]

2 項目を選ぶ

- **指紋センサーをホームキーとして使う**:指紋センサーをホームキーとして使うについてはP.94「指紋センサーをホームキーとして使う」
- **指紋センサー長押し**:指紋センサー長押しについてはP.94「指紋センサー長押し」
- **カメラの起動**: \square (電源キー)を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面▶ \square ▶[システム]▶[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **ネットワークの時刻を使用する**:日時を自動的に補正するか設定します。
- **日付**:日付を手動で設定します。
- **時刻**:時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーン**:タイムゾーンを手動で設定します。
- **言語 / 地域のデフォルトを使用する**:ユーザーの言語 / 地域の標準に合わせ、時刻の表示形式を自動的に切り替えるか設定します。
- **24時間表示**:12時間制 / 24時間制を手動で切り替えます。

[ネットワークの時刻を使用する]をONにしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

リセット オプション

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [リセット オプション]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット** : Wi-Fi、Bluetoothに関する設定をすべてリセットします。
 - 本端末には、モバイルネットワークに関する設定はありません。
- **アプリの設定をリセット** : アプリに設定した内容をすべてリセットします。
- **すべてのデータを消去(出荷時リセット)** : 本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]について

- [SDカード内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。
- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - システムやアプリのデータ、設定
 - ダウンロードしたアプリ
 - Google アカウント

複数ユーザー

本端末に複数のユーザーを登録します。ユーザーを切り替えることで、それぞれの設定に従って端末を利用できます。また、利用する機能を制限したプロフィールを登録したり、ユーザー登録していないゲストを使用者にしたりできます。

1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [複数ユーザー]

2 設定をONにする

- 登録されているユーザーやプロフィールが表示されます。
- 使用中のユーザーをタッチすると、アイコンやニックネームを変更できます。
- 管理者が使用中の場合、ユーザーやプロフィールの横に [⚙️] が表示されます。[⚙️] をタッチすると、ユーザーやプロフィールの設定画面が表示され、制限する機能などについて設定できます。

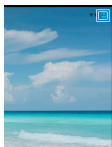
3 複数ユーザーについて設定にする

- 管理者が使用中の場合に設定できます。
- **ゲスト** : 端末の使用者を、ユーザー登録していないゲストに切り替えます。
 - ゲストが使用中の場合は、使用者の切替画面や複数ユーザーの設定画面に [ゲストを削除] と表示されます。[ゲストを削除] ▶ [削除] と操作すると、ゲストの設定が削除されます。
- **ユーザーを追加** : ユーザーやプロフィールを追加します。
- **ロック画面からユーザーを追加** : ロック画面で使用者を選ぶ際に、ユーザーを追加できるようにするか設定します。

- 管理者以外の端末利用については、一部機能が制限されます。

■ 使用者の切替

1 タッチパネルのロック画面／ステータスパネルでユーザーアイコンをタッチ



タッチパネルの
ロック画面



ステータスパネル

2 使用者を選ぶ

タブレット情報

タブレット情報の確認ができます。

1 ホーム画面▶[設定]▶[タブレット情報]

2 項目を選ぶ

- **デバイス名**: デバイス名を変更できます。
- **電話番号**: 本端末では利用できません。
- **緊急時情報**: 緊急時情報を設定できます。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **規制ラベル**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **電池の状態**: 電池の状態を確認できます。
- **電池製造情報**: 電池製造情報を確認できます。
- **モデルとハードウェア**: モデル名やシリアル番号を確認できます。
- **Androidバージョン**: Androidバージョンを確認できます。
- **IP アドレス**: IPアドレスを確認できます。
- **Wi-Fi MACアドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **Bluetoothアドレス**: Bluetoothアドレスを確認できます。
- **稼働時間**: 端末の稼働時間を確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面 ▶ [?] ▶ [お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。

■ セルフチェック

1 ホーム画面 ▶ [?] ▶ [お困りのときは] ▶ [セルフチェック]

- セーフモードで再起動: [:] ▶ [セーフモードで再起動] ▶ [OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ] / [診断したい箇所を選ぶ]

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止: [スキップ] ▶ [診断中止]
- 診断項目のスキップ: [スキップ] ▶ [スキップ]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

7 [診断を終了する]

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名:内部共有ストレージ
 - ・ パス:/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	ダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

■ microSDカード(外部ストレージ)

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.31「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理(フォルダの作成やフォルダ/ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど)ができます。また、データを削除して本体メモリの空き容量を増やすことができます。

1 ホーム画面▶[🗳️]▶[ストレージ]

- microSDカードを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードを選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。

■ フォルダを作成

1 データー一覧画面で[::]▶[新しいフォルダ]

2 フォルダ名を入力▶[OK]

■ フォルダ名／ファイル名を変更

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [:] ▶ [名前を変更]
- 3 フォルダ名／ファイル名を入力 ▶ [OK]

■ フォルダ／ファイルを削除

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [🗑] ▶ [OK]

■ フォルダ／ファイルを移動／コピー

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [:] ▶ [移動...]／[コピー...]
- 3 移動先／コピー先で[移動]／[コピー]

■ ファイルを検索

- 1 データー一覧画面で[🔍]
- 2 検索するキーワードを入力 ▶ [🔍]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

ダウンロードしたデータやほとんど使われないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- 1 ホーム画面 ▶ [🔧] ▶ [ストレージ] ▶ [内部共有ストレージ] ▶ [空き容量を増やす]
 - microSDカードを取り付けていない場合は、ホーム画面 ▶ [🔧] ▶ [ストレージ] ▶ [空き容量を増やす]と操作してください。
- 2 削除するデータを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや出力についてはP.123「主な仕様」

■ 対応プロファイル(対応サービス)

- プロファイルとは、Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。本端末は次のプロファイルに対応しています。
 - HSP:Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)※1
 - HFP:Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)※2
 - A2DP:Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)※3
 - AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)※3
 - HID:Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)※4
 - OPP:Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)※5
 - SPP:Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)※6
 - PBAP:Phone Book Access Profile(フォンプブックアクセスプロファイル)※7
 - PAN:Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)※8

- HOGP:HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)※9

- ※1 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続して利用できます。
- ※2 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続して利用できます。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※4 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスがBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※5 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※6 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※7 Bluetooth機器に本体メモリの連絡帳データを転送することができます。連絡帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※8 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetooth デザリングを行うこともできます。
- ※9 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetooth/パスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [Bluetooth]

2 ONにする

3 [新しいデバイスとペア設定する]

4 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の[接続済みのデバイス]を表示しておいてください。

- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 ペア設定画面で[ペア設定する]



- ステータスバーに [] が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ ▶ [ペア設定リクエスト] ▶ [ペア設定する] と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の管理


1 ホーム画面▶[]▶[接続済みのデバイス]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。
 - ・ [すべて表示]をタッチすると、接続解除中のBluetooth機器の一覧が表示されます。

2 Bluetooth機器を選ぶ

- []が表示されている場合は、[]をタッチしてください。

3 Bluetooth機器を管理する

- 利用する機能をタッチして、ON/OFFを切り替えることができます。
- 名称変更:[]▶名前を入力▶[名前を変更]
- 接続／接続解除:[接続]／[接続を解除]
- 登録解除:[削除]▶[このデバイスとのペア設定を解除]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 ホーム画面▶[]▶[接続済みのデバイス]▶

[接続の設定]▶[Bluetooth]

2 [デバイス名]

3 名前を入力▶[名前を変更]

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例: 静止画のとき

- 1 ホーム画面 ▶ [📁]
- 2 送信する静止画をロングタッチ
- 3 [🔗] ▶ [Bluetooth]
 - 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。
- 4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

- 1 送信側のBluetooth機器からデータ送信
- 2 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 着信通知の [承諾]
- 3 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

外部機器接続

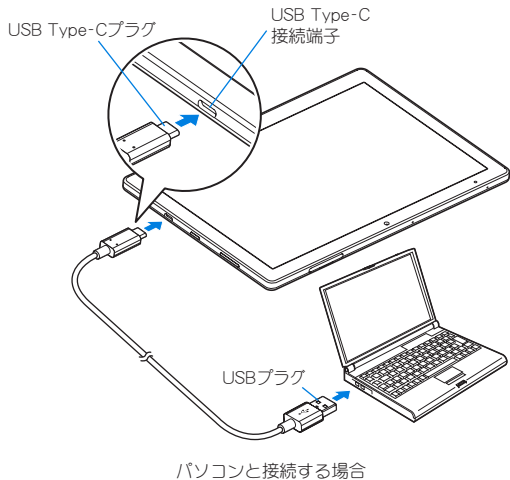
パソコンなどとの接続

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末または相手機を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。

USB Type-Cケーブル(市販品)を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USB Type-CケーブルのUSB Type-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 USB Type-CケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む

- 本端末にUSBの設定画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の使用方法についての通知を選んでください。



3 [USB の管理]でデバイス側を選ぶ

- **接続済みのデバイス**:接続済みの相手端末がデバイスになります。
- **このデバイス**:本端末がデバイスになります。
- 接続する相手機によっては[このデバイス]から[接続済みのデバイス]に切り替えることができません。この場合、デバイス側は本端末に設定されます。
 - [接続済みのデバイス]を選択してデバイス側を切り替えることができる相手機はRole Swap対応機器です。Role Swap対応機器を市販の両プラグがType CのUSBケーブルで接続した場合に切り替えることができます。この場合、相手機をホスト/本端末をデバイスにして相手機から本端末のストレージ(本体メモリまたはmicroSDカード)のデータを操作したり、本端末をホスト/相手機をデバイスにして本端末から相手機のストレージのデータを操作できます。

4 [USB の使用]でUSB接続の使用方法を選ぶ

- **ファイル転送**:MTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- **USB テザリング**:USB テザリングについてはP.80「テザリング」
- **MIDI**:端末をMIDI入力に使用します。
- **PTP**:PTP対応の相手機と本体メモリの間で静止画を転送します。
- **データ転送なし**:端末の充電のみ利用できます。
- [USB の管理]で[このデバイス](本端末がデバイス)の場合に設定できます。
[接続済みのデバイス]に設定している場合は、相手機(相手機側で[このデバイス]に設定)で操作してください。

5 利用が終わったら、USB Type-Cケーブルを取り外す

- 本端末に対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- データのやりとりをしているときは、USBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 8.1、Windows 10(いずれも日本語版)です。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、PDF形式で保存したりできます。

例:フォトを利用するとき

1 フォトの画像表示画面で[]▶[印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(※P.88「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出力します。

- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [キャスト]

2 接続する機器を選ぶ

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン([キャスト])が表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどを障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [詳細設定] ▶ [VPN] ▶ [＋]

2 各項目を設定 ▶ [保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [詳細設定] ▶ [VPN]
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [詳細設定] ▶ [VPN] ▶ 画面の指示に従って操作

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- システムをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはシステムをアップデートしてください(☞P.120「システム アップデート」)。
- 端末のセルフチェックを行ってください(☞P.102「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」にご相談ください。

■ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れになっていませんか。(☞P.33「充電」)
画面が動かない、電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> ● \square(電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェック項目
充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定のACアダプター(別売)の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。(☞P.33「ACアダプターで充電」) ● ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターのUSB Type-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。(☞P.33「ACアダプターで充電」) ● パソコンとUSB Type-Cケーブル(市販品)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ● 充電しながら通信やその他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.33「充電時のご注意」) ● 電池が切れの状態から充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。 ● 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

■ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> • 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプターが温かくなる場合がありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.33「充電時のご注意」

症状	チェック項目
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> • 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞P.34「電源を切る」、P.78「ネットワークとインターネット」 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。☞P.20「内蔵電池の交換について」 • 使用していないアプリは終了してください。☞P.45「アプリ使用履歴」 • 使用していない無線機能はOFFにしてください。☞P.78「Wi-Fi」、P.107「Bluetooth機能の利用」 • バッテリーセーバーを利用すると、電池の消費を抑えることができます。☞P.83「バッテリーセーバー」
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 端末の電源が切れていませんか。☞P.34「電源を入れる」

症状	チェック項目
タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。【P.88「ストレージ」】
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[ネットワークの時刻を使用する]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。【P.99「日付と時刻」】
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード*で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
アプリが正しく動かない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	<ul style="list-style-type: none"> 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。【P.82「アプリの有効」】 アプリの動作に必要な機能の利用を許可していますか。【P.48「アプリに必要な許可」】 電池の最適化を行っていませんか。【P.49「電池の最適化」】

※セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。

• セーフモードの起動方法

電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで[←]を押し続けてください。

※電源を入れた状態で[電源キー](1秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]と操作しても、セーフモードで再起動ができません。

また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。【P.102「セルフチェック」】

※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。

※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ウィジェットによっては消去される場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none">画面の点灯時間を短く設定していませんか。☞P.84「ディスプレイ」ディスプレイの明るさを変更していませんか。☞P.84「ディスプレイ」[明るさの自動調節]をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☞P.84「ディスプレイ」[バッテリーセーバー]をONに設定していませんか。☞P.83「バッテリーセーバー」

■ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	<ul style="list-style-type: none">アカウントの設定でGmailが自動的に同期しないように設定していませんか。☞P.95「データの同期」

■ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	<ul style="list-style-type: none">カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.64「カメラをご利用になる前に」

■ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない	<ul style="list-style-type: none">本端末は日本国内でのみ使用可能です。

■ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none">USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。☞P.110「パソコンなどとの接続」USB接続の用途を正しく設定していませんか。☞P.110「パソコンなどとの接続」
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none">microSDカードを取り付け直してください。☞P.31「microSDカード」
画像が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none">画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。P.107「Bluetooth機能の利用」

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
空き容量わずか	<ul style="list-style-type: none"> 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。
このコンテンツを再生する権限がありません	<ul style="list-style-type: none"> 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に表示されます。

エラーメッセージ	説明／対処方法
試行回数以上上限を超えました。指紋認証センサーを無効にしました。	<ul style="list-style-type: none"> 指紋認証に5回失敗したあと、しばらくたってから指紋認証を行う操作をして合計20回失敗した場合には表示されます。指紋認証ではロックを解除できなくなるため、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
所定の回数以上間違えました。しばらくしてからもう一度お試しください。	<ul style="list-style-type: none"> 指紋認証に5回失敗した場合には表示されます。状況に応じて、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
しっかりと指紋センサーをタッチしてください	<ul style="list-style-type: none"> 指紋の読み取りに失敗した場合には表示されます。
認識されませんでした	
指を離してから、もう一度センサーに触ってください。	
指を離すのが早すぎます	
ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。	<ul style="list-style-type: none"> 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

システム アップデート

SH-T01のシステム アップデートが必要なかをネットワークに接続して確認し、必要に応じてアップデートファイルをダウンロードして、システムをアップデートする機能です。

- システム アップデートが必要な場合は、端末上あるいはシャープ株式会社のホームページにてご案内いたします。
- システム アップデートは、本端末に登録した連絡帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- システム アップデートに必要な電池残量がないときはシステムをアップデートできません。システム アップデートを行う際は、電池をフル充電しておいてください。アップデート時は充電しながら操作することをおすすめします。
- システム アップデート(ダウンロード、書き換え)には時間がかかる場合があります。
- システム アップデート中は、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- システム アップデートは電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、システム アップデートを中断することがあります。
- システム アップデートの際、お客様のSH-T01固有の情報(機種や製造番号など)が、当社のシステム アップデート用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、システム アップデート以外の目的には利用いたしません。
- システム アップデートに失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- システム アップデート中は、他のアプリを起動しないでください。

システムのアップデート

1 ホーム画面 ▶ [🔧] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [システム アップデート]

- システム アップデートが必要な場合は、システム アップデート用データをダウンロードすることができます。以降は画面の指示に従って操作してください。
 - ステータスバーに [🔄] が表示されている場合は、ステータスパネルからシステム アップデートを利用することができます。
- システム アップデートの必要がないときには、[お使いのシステムは最新の状態です]と表示されます。
- アップデート中は、すべてのキー操作が無効となります。アップデートを中止することもできません。
- システム アップデートに失敗したときや中止されたときは、システム アップデートを実行し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

保証書は付属の「クイックスタートガイド」に含まれておりません。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
 - 保証期間
お買い上げの日から1年間です(ただし電池、消耗部品は除きます)。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な連絡帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

■ 補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも異常があるときは、使用を止めて、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

ご希望により有料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などを純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

主な仕様

■ 本体

品名	SH-T01	
サイズ	高さ:約170mm、幅:約246mm、厚さ:約8.2mm(最厚部:約8.6mm)	
重量	約491g	
ディスプレイ	サイズ	約10.1インチ
	種類	TFT
	解像度 (ピクセル数 横×縦)	WUXGA(1920×1200)
	発色数	16,777,216色
内蔵メモリ	RAM:4G/バイト ROM:64G/バイト※1	
バッテリー容量	6500mAh	
充電時間	ACアダプター SH-AC05 (別売):約220分	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯:2.4GHz/5GHz)

Bluetooth※2	バージョン	5.0	
	出力	Bluetooth標準規格 BR/EDR: Power Class 1、LE: Power Class 1.5	
	対応プロファイル※3/コーデック	HSP(1.2)、HFP(1.7)※4、A2DP(1.3)※5、AVRCP(1.6)、HID(1.0)、OPP(1.2)、SPP(1.2)、PBAP(1.2)、PAN(PAN-NAP)(1.0)、PAN(PANU)(1.0)、HOGP(1.0)	
イヤホンマイク端子	端子径	3.5mmイヤホンジャック	
	極数	4極	
カメラ	撮像素子	種類	アウトカメラ:裏面照射型CMOS※6 インカメラ:裏面照射型CMOS※6
		サイズ	アウトカメラ:1/4インチ インカメラ:1/4インチ
	有効画素数		アウトカメラ:約800万画素 インカメラ:約800万画素
	記録画素数		アウトカメラ:約800万画素 インカメラ:約800万画素

カメラ	記録 ファイル 形式※7	動画	MP4
		静止画	JPEG
	動画1件あたりの最大録画時間		制限なし※8
	ズーム (デジタル)	動画	アウトカメラ: 最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍
静止画		アウトカメラ: 最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍	
動画再生	対応コーデック		H.263、H.264、H.265、 MPEG-2、MPEG-4、VP8、 VP9
音楽再生	対応コーデック		AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、 AMR-WB、FLAC、MP3、 MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、 Opus
多言語対応※9			英語、中国語(簡体字)、イン ドネシア語、ベトナム語、タ イ語、ポルトガル語

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.88)をご参照ください。

- ※2 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。
- ※3 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※4 音声コーデックmSBC(16kHz)、CVSDに対応しています。
- ※5 音声コーデックaptX、aptX Adaptive、SBC、AACに対応しています。
- ※6 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※7 「カメラ」利用時の仕様です(P.64「カメラについて」)。
- ※8 動画の解像度が[FHD 1080p]の場合の撮影時間です。動画撮影時間は保存先に設定したストレージの空き容量により異なります。
- ※9 Android標準でサポートしている全言語にも対応。表示できる言語はそれぞれのアプリに依存します。

CAUTION

- The device can be used in Japan only.

Use only specified AC adapter (sold separately).

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

For details on optional parts, refer to the following website.

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/sht01/index.html>

Do not throw the device into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the device in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. It may also cause damage to the environment. For details on the unnecessary device, contact the “company or outlet listed on the warranty card” or follow the instructions by a local institution that handles used devices.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Avoid using the device in extremely high or low temperatures.

Use the device within the range of a temperature between 5° C and 35° C and a humidity between 45% and 85%.

Refer to the following for details on using it at a bathroom.

※P.21“SH-T01が有する防水／防塵性能でできること”

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5° C and 35° C.

Bluetooth function

- Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Direct®, Wi-Fi Protected Access® (WPA)はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

- Google、Google ロゴ、Android、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Chromebook、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google 検索、Google 検索 ロゴ、Google Lens™、Google フォト™、Google アシスタント、Google アシスタント ロゴ、Google Playムービー & TV ロゴ、Google Pay、Google One、Google One ロゴ、Google ニュース、Google スプレッドシート、Google スライドは、Google LLC の商標です。
- 「AQUOS／アクオス」、「AQUOS Home」、「リラックスビュー／RelaxView」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されています。これ以外の使用については、ライセンス許諾されていません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
 その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイターから入手したAVCビデオに限りません）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされていません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com>をご参照ください。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面▶
[]▶[タブレット情報]▶[法的情報]▶[サードパーティ ライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

索引

名前から探す

あ

アイコンの見かた	42
明るさの自動調節	84
明るさのレベル	84
新しい連絡先のデフォルト アカウント	60
アニメーションの削除	96
アプリ情報	82
アプリ使用履歴	45
アプリ初回起動時の確認画面について	48
アプリと通知	81
アプリに必要な許可	48
アプリの一覧にアイコンを表示	97
アプリの権限	90
アプリの購入	70
アプリの設定をリセット	100
アラーム	72
アラームの音量	86
暗号化と認証情報	91
安全上のご注意(必ずお守りください)	5
位置情報	90
位置情報付加	68
色反転	96
色補正	96
インカメラのミラーモード	68

印刷	81
インポート	60
エクスポート	60
大きなマウスポインタ	96
オーディオ バランス	96
オープン ネットワークの通知	79
お困りのときは	102
お支払い方法	63
音	86
主なアプリ一覧	56
主な仕様	123
おやすみモード	97
音声エージェント	47
音量キーのショートカット	96

か

解像度	68
ガイド線	68
拡大	96
各部の名称と機能	27
仮想キーボード	98
稼働時間	101
壁紙	84
壁紙の設定	
AQUOS Home	52
かんたんホーム	55
カメラについて	64
カメラの起動	99
カメラの設定	68
カメラをご利用になる前に	64

画面消灯	84
画面の固定	91
画面の自動回転	
ディスプレイ	84
ユーザー補助	96
画面表示/アイコン	42
画面ロック	90
画面ロック音	86
カレンダー	75
カレンダーの設定	76
かんたんホーム	53
かんたんホーム一括切替	50
かんたんホームの見かた	53
規制ラベル	101
輝度	85
機内モード	78
機能のショートカットの利用	
AQUOS Home	52
かんたんホーム	55
機能利用中の操作	38
基本操作	37
キャスト	113
緊急時情報	101
ゲスト	100
権限マネージャ	48
言語	
Chromeの設定	63
言語と入力	98
言語/地域のデフォルトを使用する	99
言語と入力	98
検索エンジン	63
高コントラストテキスト	96

このデバイス	111
--------	-----

さ

最後にフル充電してからの使用時間	83
サイトの設定	63
サイトの表示	61
撮影画面の見かた	66
時刻	99
システム	98
システム アップデート	120
自動調整バッテリー	83
自動入力サービス	98
自分の情報	60
字幕の設定	96
指紋	90
指紋認証	92
写真の手ブレ補正	68
住所やその他の情報	63
充電	33
充電時の音とバイブレーション	86
証明書のインストール	79
初期設定	35
信頼エージェント	91
スクエア	67
スクリーンショットの撮影	40
スクリーンセーバー	84
スケジュール	
サイレント モード	87
リラックスピュー	85
スケジュールの削除	76

スケジュールの作成	75	タイムラプス(3倍速)	67
スケジュールの設定	83	ダウンロード	63
ステータスパネルの利用	44	タッチボード	97
ストップウォッチ	74	タッチ操作音	86
ストレージ	88	タッチパネルの操作	37
ストレージ構成	103	タップ操作時のパイプ	86
すべてのデータを消去(出荷時リセット)	100	縦画面の反転	84
すべての例外を表示	87	タブレット情報	101
スベルチェック	98	単語リスト	98
静止画の撮影	67	知的財産権について	126
世界時計	73	ちらつき防止	68
セキュリティ	90	通知	
セキュリティ アップデート	90	Chromeの設定	63
接続済みのデバイス		アプリと通知	81
接続済みのデバイス	80	通知/充電ランプ	42
パソコンなどとの接続	111	通知ドット	
設定項目を検索	102	AQUOS Home	53
設定メニュー	77	かんたんホーム	55
設定リセット	68	通知ドットに件数表示	
セルフチェック	102	AQUOS Home	53
前回のフル充電	83	かんたんホーム	55
全般	76	通知の音量	86
操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	96	通知の制限	87
		通知を管理	97
		停止時間	96
		ディスプレイ	84
		データセーバー	78
		データ転送なし	111
		データの同期	95
		テーマ	
		Chromeの設定	63
		連絡帳を設定	60

た

タークテーマ	
ディスプレイ	84
ユーザー補助	96
タイマー	74
タイムゾーン	99

テキスト読み上げの設定	
言語と入力	98
ユーザー補助	96
テザリング	80
デバイス管理アプリ	90
デバイス名	101
デバイスを探す	90
デフォルト アプリ	81
デフォルトのアラーム音	86
デフォルトの期間	87
デフォルトの通知音	86
電源を入れる/切る	34
電池	83
電池残量	83
電池製造情報	101
電池の最適化	49
電池の状態	101
電話番号	101
動画の撮影	68
同期と Google サービス	63
特別なアプリアクセス	81
時計	72
トラブルシューティング (FAQ)	115
取り扱い上のご注意	14

な

長押しする時間	96
ニアバイシエア	81
ネットワークとインターネット	78
ネットワークの時刻を使用する	99

ネットワーク評価プロバイダ	79
---------------	----

は

バイブレーションと触覚フィードバックの強さ	96
パスワード	63
パソコンなどとの接続	110
バックアップ	98
バッテリーセーバー	83
日付	99
日付と時刻	99
表示サイズ	
ディスプレイ	84
ユーザー補助	96
ビルド番号	101
ファイル操作	103
ファイル転送	111
フォーカス モード	97
フォト	69
フォントサイズ	96
復元	60
複数ユーザー	100
ブックマーク	63
物理キーボード	98
プライバシー	
Chromeの設定	63
設定	89
プライベート DNS	78
プリントサービスによる印刷/保存	112
フル充電で無効	83
プロキシ設定	78

変更を元に戻す	60
ポインタの速度	98
防水/防塵性能	21
法的情報	101
ホーム画面にアイコンを追加	
AQUOS Home	53
かんたんホーム	55
ホーム画面の管理	
AQUOS Home	51
かんたんホーム	54
ホーム画面の設定	
AQUOS Home	53
かんたんホーム	55
ホーム切替	50
ホームページ	63
保証とアフターサービス	121
保存先設定	68
本端末のご利用について	4

ま

マップ	72
マナーモード	87
マルチウィンドウ	46
メール/ウェブブラウザ	61
メールの表示	61
メディアの音量	86
目次	2
文字入力	41
文字フォント設定	84
モデルとハードウェア	101

モノラル音声	96
--------	----

や

ユーザー補助	96
ユーザー補助機能	63
ユーザーを追加	100
輸出管理規制	125
よくあるご質問	102
よみがな	60

ら

ライトモード	63
リセット オプション	100
利用時間	81
リラックスビュー	85
履歴	63
連写撮影	68
連絡先の同期設定	60
連絡帳	58
連絡帳の確認/利用	59
連絡帳の登録	58
連絡帳を設定	60
ロック画面	85
ロック画面からユーザーを追加	
複数ユーザー	100
ロック画面の表示	85
ロック画面メッセージ	85
ロックダウン オプションの表示	85

英数字

ACアダプターで充電	33
Androidサービス以外の権限	90
Androidバージョン	101
AQUOS Home	50
AQUOS Homeの見かた	50
Bluetoothアドレス	101
Bluetooth機能	105
Bluetooth機能の利用	107
Bluetooth通信送受信	109
Bluetooth テザリング	80
Bluetooth で受信したファイル	81
Chrome	61
Chromebook	81
Chrome について	63
Chrome にログイン	63
Chromeの設定	63
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	97
Gboard	41
Gmail	61
Gmail から予定を作成	76
Google	97
Google Play システム アップデート	90
Google Play プロテクト	90
Google アプリの表示	53
Googleなどのアカウントの設定を行う	35
GPS機能の利用	71
GPS/ナビ	71
HDR	68
IP アドレス	

Wi-Fiの設定	79
タブレット情報	101
MAC アドレス	79
microSDカード	31
microSDカード/USBメモリのフォーマット	88
microSDカードの暗号化/暗号化解除	88
MIDI	111
Play ストア	70
PTP	111
Smart Lock	90
SMS、MMS、メッセージ アプリ	87
USB	80
USBケーブルで充電	34
USB テザリング	80
USBホスト機能	112
VPNの接続	114
VPNの切断	114
VPNの追加	113
Wi-Fi	78
Wi-Fi Direct	79
Wi-Fi MACアドレス	101
Wi-Fi のスキャンと Bluetooth のスキャン	90
Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	100
Wi-Fi を自動的に ON にする	79
24時間表示	99

目的から探す

基本操作

電源を入れる	34
画面ロックを解除する	35
マナーモードにする	87
ホーム画面の見かた	50
ホーム画面にショートカットを追加する	52
ホーム画面にウィジェットを追加する	52
文字を入力する	41
microSDカードを取り付ける／取り外す	31
電池の消耗を抑える	83

メール

Gmailを使う	61
----------	----

インターネット

ホームページを見る	61
ブックマーク(お気に入り)を登録する	63

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する	79
------------------	----

カメラ

写真を撮影する	67
動画を撮影する	68
撮影した写真／動画を見る	69
撮影した写真／動画の保存先を設定する	68

便利な機能

Googleマップで目的地までの道のりを調べる	72
スケジュールを登録／確認する	75
スクリーンショットを撮影する	40
画面が暗くなるまでの時間を変更する	84
目覚まし(アラーム)をセットする	72
本体やmicroSDカードのデータを確認する	88
テザリングを設定する	80
ディスプレイの照明を明るくする	84

バックアップ

データや設定などをバックアップする	98
-------------------	----

故障

故障かな?と思ったら	115
端末を初期化する	100

その他

スペックを確認する	123
アプリをアンインストールする	51
USBケーブルを利用してパソコンからデータを送る	110



製造元 シャープ株式会社

1.1版
20J RK139